

令和4（2022）年度 第65回春季日本歯周病学会総会・評議員会式次第

日時：令和4（2022）年6月3日（金）11：30～12：30

場所：京王プラザホテル本館5F コンコードABC

（〒160-8330 東京都新宿区西新宿2丁目2-1）

1. 開会の辞（齋藤副理事長）
2. 理事長挨拶（小方理事長）
3. 大会長挨拶（佐藤秀一大会長）
4. 議長選出（齋藤副理事長）
5. 議事
 - 1) 議事録署名人指名
 - 2) 報告事項
 - (1) 庶務・会計報告
 - ① 庶務報告（佐藤秀一理事・西田幹事） (p. 1～10)
 - ② 会計報告（申理事・中山幹事）
 - (2) 各種委員会報告（小方理事長） (p.11～18)
 - (3) 学術大会報告
 - ① 第64回秋季学術大会開催報告（三谷理事） (p.19～21)
 - ② 第65回秋季学術大会準備状況報告（山田理事） (p.21～25)
 - ③ 第66回春季学術大会準備状況報告（湯本理事） (p.26～27)
 - ④ 第66回秋季学術大会準備状況報告（吉村理事） (p.27)
 - ⑤ 日本歯周病学会学術大会開催予定（小方理事長） (p.28)
 - (4) その他
 - ① 日本歯科専門医機構における学会対応について
（小方理事長、村上前理事長、吉成理事、山本理事） (p.29～30)
 - ② 各賞表記の整理について（小方理事長） (p.31～32)
 - ③ 認定医・専門医申請における医薬品・医療機器等に関する考え方の整備について
（山本理事） (p.33～34)
 - ④ 「歯周病の新分類」の本格実施について（村上前理事長） (p.35～36)
 - ⑤ 国民への歯周病啓発活動について（小方理事長） (p.37～38)
 - 3) 協議事項
 - (1) 令和3（2021）年度決算報告ならびに監査報告
（申理事・中山幹事、伊藤・永田両監事） (p.39～50)
 - (2) 令和4（2022）年度事業計画（小方理事長） (p.51)
 - (3) 令和4（2022）年度予算（申理事・中山幹事） (p.52～53)
 - (4) 名誉会員の推薦（小方理事長） (p.54)
 - (5) 新理事の推薦（小方理事長） (p.55)
 - (6) 次期（第26期）理事長・理事について（八重柏理事） (p.56)
 - (7) その他
6. 閉会の辞（齋藤副理事長）

5. 議事

2) 報告事項

(1) 庶務・会計報告

① 庶務報告（佐藤秀一理事・西田幹事）

日本歯周病学会庶務報告

1. 会員数について

	(R4. 3. 31現在)	(R3. 3. 31現在)	(R2. 3. 31現在)
名誉会員	61	60	59
正会員	8,843	8,496	8,375
歯科医師	8,602	8,290	8,211
その他	241	188	165
準会員	3,135	2,952	2,859
歯科衛生士	3,015	2,848	2,737
歯科技工士	6	6	5
その他	114	101	117
賛助会員	38	38	38
会員総数	12,077	11,546	11,331

年度末未納退会者処理未 年度末未納退会者処理済 年度末未納退会者処理済

* 国内9か所、国外5か所に会誌を寄贈している。

* (歯科医師 内訳: 大学関係 1,717名・勤務医 2,801名・開業 3,814名・その他 270名)

2. 入・退会者について

	(R3. 4. 1～R4. 3. 31)	(R2. 4. 1～R3. 3. 31)	(H31. 4. 1～R2. 3. 31)
入会者	866名	805名	959名
退会者	378名	604名	548名
うち未納退会者	1名	251名	228名
うち希望退会者	378名	353名	320名

(入会者内訳: 正会員 533名・準会員 331名・購読会員 1団体・賛助会員 1社)

(入会正会員内訳: 大学関係 175名・勤務医 277名・開業 69名・その他 12名)

(退会者内訳: 正会員 205名・準会員 172名・購読会員 0団体・名誉会員 0名・賛助会員 1社)

(退会正会員内訳: 大学関係 51名・勤務医 56名・開業 90名・その他 8名)

3. 会費納入率

(R4. 3. 31現在、正・準会員 11,978名)	(R3. 3. 31現在、正・準会員 11,478名)
R3年度完納者 10,408名 納入率86.9%	R2年度完納者 10,106名 納入率86.4%
R3年度未納者 881名	R2年度未納者 869名
R3.2年度未納者 408名	R2.元年度未納者 421名
R3.2.元年度未納者 281名	R2.元. H30年度未納者 306名★

* R3年度年会費請求時期 銀行引落5月下旬／郵便振込6月中旬、10月初旬、12月中旬、3月上旬

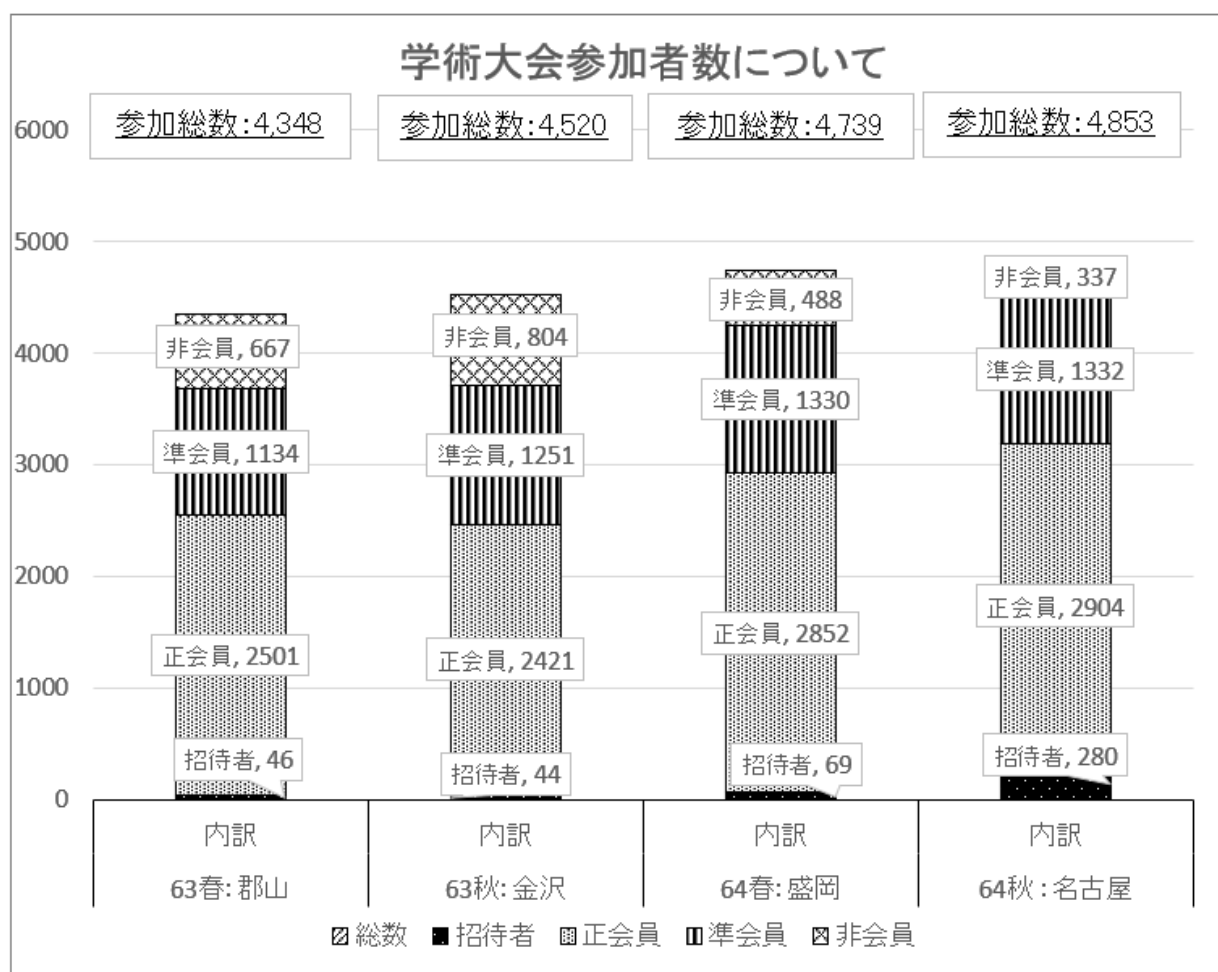
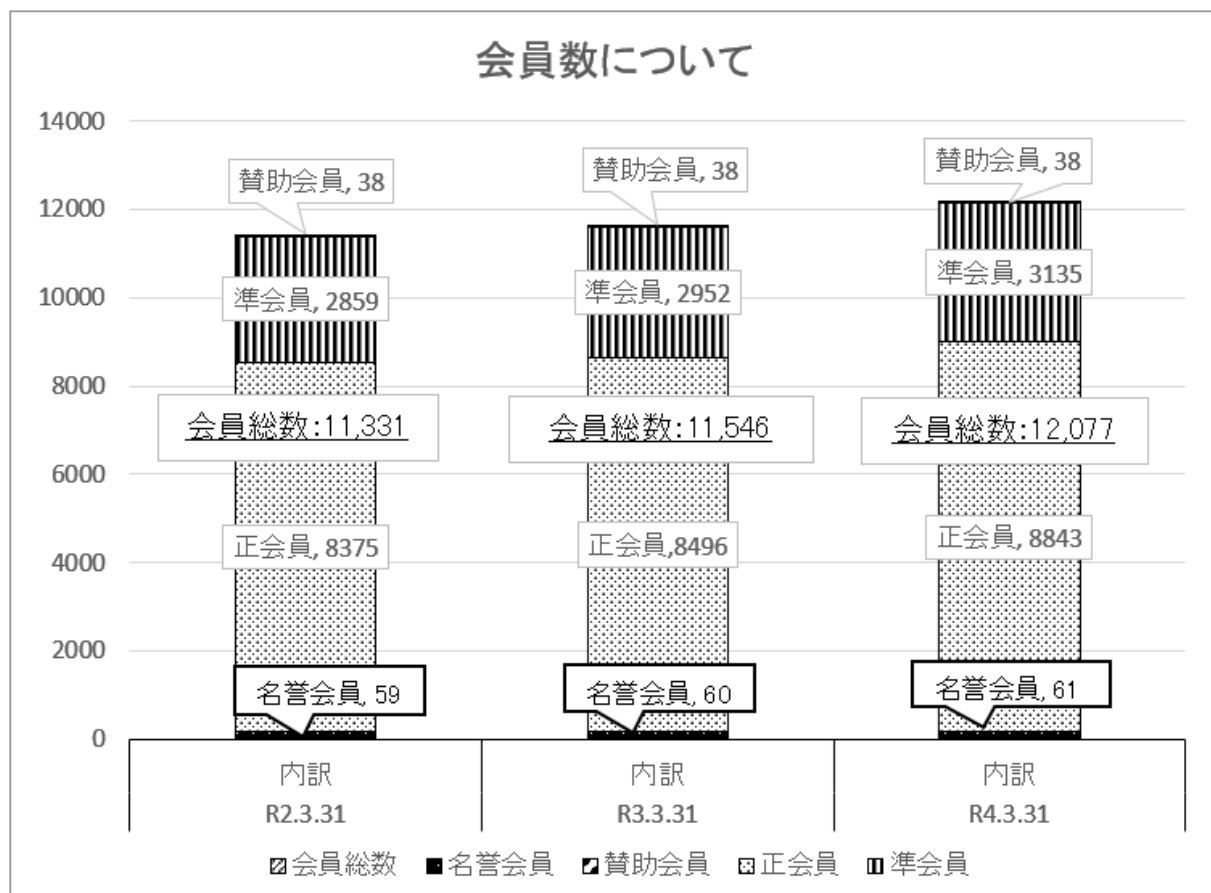
★ R3. 3. 31時点で未入金であった251名を年度末未納退会とした

4. 専門医・指導医・研修施設数

	(R4. 3. 31 現在)	(R2. 3. 31 現在)
専門医数	1,175名 (指導医を含む)	1,124名 (指導医を含む)
指導医数	288名	270名
指定研修施設数	174箇所	156箇所
認定医数	1,243名	1,116名
認定歯科衛生士数	1,299名	1,178名

5. 学術大会参加者数 (総数) ※63春・秋、64春はWeb開催。64秋は現地とWebのハイブリッド開催

	64秋: 名古屋	64春: 盛岡	63秋: 金沢	63春: 郡山	62秋: 北九州	62春: 横浜
参加人数	4,853名	4,739名	4,520名	4,348名	2,811名	4,203名



庶務報告（令和3（2021）年9月1日～令和4（2022）年3月31日）

【会務関係】

9月3日	認定医委員会がオンラインにて開催された。
9月6日	企画調査研究助成選考委員会がオンラインにて開催された。
9月6日	第60回脱たばこ社会実現委員会がオンラインにて開催され、健康サポート委員会より稲垣幸司理事、中山委員が出席した。
9月7日	学会ホームページを更新し、「第7回若手合宿研修」の募集期間を延長のお知らせ、第64回秋季学術大会のプログラム・抄録集を掲載した。
9月10日	シーズ育成若手奨励研究助成選考委員会がオンラインにて開催された。
9月13日	歯周病患者における再生治療のガイドライン2021ワーキンググループがオンラインにて開催された。
9月15日	日本歯科衛生士会・日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会合同会議がオンラインにて開催された。
9月19日	歯科衛生士関連委員会がAP東京八重洲通りで開催された。
9月28日	ニュースレター 2021年第2号（9月）を学会ホームページに掲載した。
9月28日	2021年度募集分：奨励賞・教育賞・研究者育成ファンドによる奨学金助成・Young Investigator Awardの案内を学会ホームページに掲載した。
10月1日	日本歯周病学会会誌63巻3号が発刊され、会員各位にメールアラートが送信された。
10月1日	医療委員会がオンラインにて開催された。
10月5日	学会ホームページを更新し、「The 61th General session of KAP（韓国歯周病学会学術大会）の参加登録のご案内」を掲載した。
10月9日	専門医委員会がAP新橋で開催された。
10月12日	緊急脱たばこ合同会議がオンラインにて開催され、健康サポート委員会より稲垣幸司先生、中山洋平先生が出席した。
10月14日	令和3年度秋季理事会が名古屋国際会議場にてハイブリッド方式で開催された。
10月14日	第7回若手合宿研修がサイプレスガーデンホテルで開催された。
10月15日	令和3年度秋季総会が名古屋国際会議場にてハイブリッド方式で開催された。
10月15・16日	第64回秋季日本歯周病学学術大会が名古屋国際会議場で開催された。
10月18日	口腔9学会脱タバコ社会実現委員会より「日本歯科新聞の「加熱式タバコ」に関する広告について」を拝領した。
10月21日	国民向け新ホームページ打ち合わせがオンラインにて開催された。
10月27日	第27回認定医、第66回歯周病専門医、第66回指導医、第32回認定歯科衛生士の各申請日程を掲載した。
10月27日	功労賞・地域活動賞・臨床ポスター賞・ベストハイジニスト賞・Young Investigator Awardの各受賞者を学会ホームページに掲載した。
10月27日	症例賞・教育賞・研究者育成ファンドによる奨学金・地域活動賞の各募集のご案内を学会ホームページに掲載した。
10月28日	「歯保連試案2021販売について」を学会ホームページに掲載した。
11月1日～30日	第64回秋季学術大会がオンデマンド方式で開催された。
11月1日	学会ホームページを更新し、次期理事（2・3・4項理事）選出についてのご案内を掲載した。理事各位へ本件を配信した。
11月8日	日本臨床歯周病学会と連名で「いい歯の日のプレスリリース」を行った。
11月8日	理事・評議員各位へ「奨励賞・教育賞・研究者ファンド募集開始のご案内」を配信した。
11月9日	学会ホームページを更新し、「「加熱式タバコ」に関する広告に対する見解」を掲載した。
11月10日	執行役員会がオンラインにて開催された。
11月11日	学会ホームページを更新し、専門医・指導医・研修施設・専門医委員会が認めたその他の研修会のオンライン申請フォームの公開、シーズ育成若手奨励研究助成・企画調査研究の採択者の掲載、認定歯科衛生士数・学会会誌歯科衛生士コーナーを最新のものに反映した。
11月13日	日本医療機能評価機構「第23回診療ガイドライン作成に関する意見交換会」がオンラインにて開催され、佐藤聡理事、高橋理事が出席した。
11月14日	第91回歯科衛生士教育講演B in 愛媛がオンラインにて開催された。

11月15日	第62回合同脱タバコ委員会がオンラインで開催され。健康サポート委員会より稲垣理事と中山先生が出席した。
11月18日	国民向け新ホームページ打ち合わせがオンラインにて開催された。
11月19日	PM委員会がAP東京八重洲通りで開催された。
11月25日	常任理事会、ならびにJSP-JACP合同会議がオンラインにて開催された。
11月27日	禁煙推進学術ネットワーク第3回学術会議、第45回定例会議がハイブリッド形式で開催され、稲垣理事が出席した。
11月28日	用語委員会がAP東京八重洲通りで開催された。
11月29日	第63回合同脱タバコ委員会がオンラインで開催され。健康サポート委員会より稲垣理事と中山委員が出席した。
12月8日	国民向け新ホームページ打ち合わせがオンラインにて開催された。
12月10日	選挙管理委員会がオンラインにて開催された。
12月14日	学会ホームページを更新し、「認定医オンライン申請フォーム」公開した。
12月15日	学会ホームページを更新し、「研究者ファンド募集期間延長のご案内」を掲載した。併せて、理事・評議員各位に通知した。
12月17日	学会ホームページを更新し、「第92回歯科衛生士教育講演B開催のご案内」を掲載した。
12月19日	歯科衛生士関連委員会がAP東京八重洲通りで開催された。
12月23日	第64回合同脱タバコ委員会がオンラインで開催され、健康サポート委員会より稲垣理事と中山先生が出席した。
1月6日	国民向け新ホームページに関する打ち合わせがオンラインで開催された。
1月14日	学会ホームページを更新し、第91回歯科衛生士教育講演B in 愛媛の報告書を掲載した。
1月17日	カジュアルコンテンツ製作に関する打ち合わせがオンラインで開催された。
1月17日	健康サポート委員会より「診療報酬改定に関する意見募集（パブコメ）の件」の申し出を受けて会員各位へ協力依頼を配信した。
1月19日	執行役員会がオンラインで開催された。
1月19日	歯科再生医療推進ネットワーク第7回協議会がオンラインで開催され、多部田理事が出席した。
1月20日 ～3月18日	医療安全講習がオンラインで開催された。
1月20日	学会ホームページを更新し、ピックアップに医療安全講習のバナーを掲載した。
1月21日	専門医委員会がAP東京八重洲通りで開催された。
1月21日	日本歯周病学会会誌62-4お知らせメールを会員各位へ配信した。
1月28日	学会ホームページを更新し、「研究者ファンド募集期間再延長のご案内」、「地域活動賞募集のご案内」を掲載した。前者は理事・評議員各位に通知した。
1月30日	第92回歯科衛生士教育講演B in 兵庫がオンラインで開催された。
2月1日	「地域活動賞募集のご案内」を会員各位へ通知した。
2月1日～10日	次期理事選挙が電子投票方式にて行われた。
2月7日	カジュアルコンテンツ製作に関する打ち合わせがオンラインで開催された。
2月9日	第46回禁煙推進学術ネットワーク定例会議がオンラインで開催され、健康サポート委員会より稲垣理事が出席した。
2月10日	認定医委員会、国民向け新ホームページ打ち合わせがオンラインで開催された。
2月13日	選挙管理委員会がオンラインで開催された。
2月14日	第65回合同脱タバコ委員会がオンラインで開催され、健康サポート委員会より稲垣理事と中山委員が出席した。
2月15日	学会ホームページを更新し、「第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会のご案内」、「第14回アジア太平洋歯周病学会（APSP学術大会）のご案内」「金田博夫研究助成基金2022年度海外留学」募集のご案内」を掲載した。
2月17日	常任理事会、奨励賞選考委員会、教育賞選考委員会がオンラインで開催された。
2月21日	広報委員会がメール持ち回りで開催された。
2月22日	学会ホームページを更新し、「第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会のご案内」、「加熱式タバコに関する日本歯周病学会見解」、

「歯周病の新分類への対応改訂版」、「禁煙支援パンフレット2022「始めよう禁煙!!」」、「倫理審査申請に必要な要件の追加について（お知らせ）」をした。

2月24日	倫理委員会がメール持ち回りで開催された。
2月25日	医療安全講習の視聴・登録期間延長のお知らせを会員各位へ通知した。
2月27日	歯科衛生士関連委員会がオンラインで開催された。
2月28日	学会ホームページを更新し、「第92回歯科衛生士教育講演開催報告書」を掲載した。
3月2日	@DIMEに歯周病啓発記事が掲載された。
3月2日	若手研究者の集いワーキンググループがオンラインで開催された。
3月10日	国民向け新ホームページ打ち合わせがオンラインで開催された。
3月14日	再生治療ガイドライン改定ワーキンググループがオンラインで開催された。
3月15日	学会ホームページを更新し、「Young Investigator Award (SUNSTAR Award) 募集期間延長のご案内」を掲載した。併せて、会員各位に通知した。
3月15日	倫理委員会がメール持ち回りで開催された。
3月19日	専門医委員会がAP東京丸の内で開催された。
3月22日	カジュアルコンテンツ製作打ち合わせがオンラインで開催された。
3月22日	学会ホームページを更新し、「禁煙支援の評価票と解説」を掲載した。併せて、会員各位に通知した。
3月24日	執行役員会がオンラインで開催された。
3月25日	学会ホームページを更新し、「令和4年3月16日 福島県沖を震源とする地震に伴う対応について」を掲載した。併せて、会員各位に通知した。
3月25日	学会ホームページを更新し、「歯周病カジュアルコンテンツ（2022. 4. 18公開予定）」を掲載した。
3月29日	会則委員会がメール持ち回りで開催された。
3月30日	学会ホームページを更新し、「第65回春季日本歯周病学会学術大会プログラム・抄録集」、「歯周治療のガイドライン2022」を掲載した。
3月31日	学会ホームページを更新し、「令和4（2022）年度学術賞、令和5（2023）年度シーズ育成若手奨励研究助成」募集のご案内、「第108回アメリカ歯周病学会共催日本臨床歯周病学会・日本歯周病学会2022年大会 JACP/JSPポスター募集期間延長のお知らせ」を掲載した。

【日本歯科医師会・日本歯科医学会・日本歯科医学会連合関連】

9月1日	日本歯科医学会より「全国歯科大学・歯学部／医科大学・医学部歯科（口腔外科）教授等名簿」を拝領した。
9月1日	日本歯科医学会より「『磁性アタッチメントを支台装置とする有床義歯の診療に対する基本的な考え方』の学会HPアップにつきまして」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月9日	日本歯科医学会より「HP掲載：学会長ご挨拶 令和3年9月号」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月9日	第24回日本歯科医学会学術大会より「特設サイト・大会ムービーのご案内につきまして」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月9日	日本歯科医学会より「献血血液の研究開発等への使用に関する公募の実施について」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月14日	第24回日本歯科医学会学術大会参加登録に関する説明会がWeb開催され、事務局が出席した。
9月23～25日	第24回日本歯科医学会学術大会がオンラインにて開催された。オンデマンド開催として10月31日まで開催される。
9月24日	日本歯科専門医機構「歯周病専門医に関する打ち合わせ」がWeb形式にて開催され、小方理事長、村上前理事長、吉成理事、山本理事が出席した。
10月2日	日本歯科専門医機構より「医療法第六条の五第三項及び第六条の七第三項の規定に基づく医業、歯科医業若しくは助産師の業務又は病院、診療所若しくは助産所に関して広告することができる事項の一部を改正する告示の施行について」を拝領した。
10月4日	日本歯科医学会学術大会「学会長ご挨拶 令和3年10月号」、「日歯NEWS LETTER 第29号」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月13日	日本歯科専門医機構より「共通研修結果について」を拝領した。
10月15日	「【重要：第一報】日本歯科専門医機構「共通研修」承認不可のご連絡」を学会ホームページに掲載した。

10月18日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第30号」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月19日	日本歯科医学会より「第37回「歯科医学を中心とした総合的な研究を推進する集い」開催について」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月19日	「【重要：第二報】日本歯科専門医機構「共通研修」承認不可のご連絡」を学会ホームページに掲載した。
10月20日	第24回日本歯科医学会学術大会より「オンデマンド配信終了の期日が迫る！」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月21日	日本歯科専門医機構にて「歯科専門医制度運用審査」が開催され、吉成理事と事務局が出席した。
10月27日	日本歯科医学会より「専門・認定分科会会員数の照会について（依頼）」を拝領し、事務局より回答した。
10月28日	日本歯科医学会連合より「明日（10/29）開催の「第16回 医工連携オンラインピッチ」についてご連絡」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月28日	日本歯科医学会より「歯科イノベーションロードマップ特設サイト「ミライのシカイ」公開について」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月29日	日本歯科医学会連合より「本日開催の「第16回 医工連携オンラインピッチ」は中止になりました。」を拝領し、理事各位へ転送した。
11月1日	日本歯科医学会より「歯科イノベーションロードマップ特設サイト「ミライのシカイ」公開について」を拝領し、理事へ転送した。
11月1日	日本歯科医学会より「日本歯科医学会誌第41巻へのご執筆について（依頼）」を拝領し、小方理事長が対応した。
11月4日	日本歯科医学会より「ICD-11和訳作業確認依頼」があり、用語委員会にて対応した。
11月8日	日本歯科医学会より「都道府県別医療事故報告件数について（情報提供）」を拝領し、理事へ転送した。
11月11日	日本歯科医学会連合より「日本接着歯学会主催「2021年度第2回臨床セミナー・専門医認定研修会」のご案内について」を拝領し、理事へ転送した。
11月11日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第31号」を拝領し、理事へ転送した。
11月16日	日本歯科医学会より「HP「学会長ご挨拶 令和3年11月号」を拝領し、理事へ転送した。
11月17日	日本歯科専門医機構より「第2回社員総会（メール会議）について」を拝領した。執行部で検討した結果、全て議題について、賛成として回答した。
11月24日	日本歯科医学会連合より「公開シンポジウム開催のご案内（主催：日本学術会議 共催：日本歯科医学会連合）」を拝領し、理事へ転送した。
12月1日	日本歯科専門医機構より「「役員候補者選考会議」の委員候補者に関するご意見伺い」を拝領し、問題なしとして回答した。
12月2日	日本歯科医学会より「HP掲載：学会長ご挨拶 令和3年師走号」を拝領し、理事へ転送した。
12月2日	日本歯科医学会を通じて厚生労働省より「歯科医師国家試験出題基準改定案に関するご意見募集につきまして」依頼があり、教育委員会と理事へ転送し、意見を回答した。
12月3日	日本歯科医学会より「令和3年度 医療事故調査制度に係る「管理者・実務者セミナー」の開催について」を拝領し、理事へ転送した。
12月15日	日本歯科専門医機構より「共通研修認定結果の送付について」を拝領した。
12月15日	日本歯科医学会連合より「年末年始のご挨拶」を拝領し、理事へ転送した。
12月21日	日本歯科専門医機構より「事務所移転と年末年始の休業について」を拝領し、理事へ転送した。
1月6日	日本歯科医学会より「HP「学会長ご挨拶 令和4年新年号」」を拝領し、理事へ転送した。
1月7日	日本歯科医学会より「上原賞の授与者決定・受賞講演配信のお知らせ」を拝領し、理事へ転送した。
1月7日	日本歯科医学会より「令和4年度プロジェクト研究費公募用テーマのご提案について」を拝領した。理事ならびに研究委員会で検討を行い、2月18日に提出した。
1月7日	日本歯科医学会より「第65回春季日本歯周病学会学術大会後援名義貸与承諾書」を拝領した。
1月13日	日本歯科医学会より「令和3年度「歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等）」へのご協力依頼について」を拝領し、会員へ協力依頼を行った。

1月14日	日本歯科専門医機構より「共通研修要項の改訂についてのご案内」を拝領した。
1月14日	日本歯科医学会連合より「新型タバコ、特に加熱式タバコに関する注意喚起（口腔9学会合同脱タバコ社会実現委員会）」を拝領し、ホームページ掲載と会員あて配信を行った。
1月24日	日本歯科医学会連合より「臨床研究支援委員会フォーラム開催のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
1月24日	日本歯科医学会より「医療事故の再発防止に向けた提言第15号の公表について」、「日歯NEWS LETTER 第32号」を拝領し、理事へ転送した。
1月25日	日本歯科専門医機構より「事務局移転のご連絡」を拝領し、理事へ転送した。
1月25日	日本歯科医学会より「生理学研究所研究力強化戦略室先端バイオイメージング支援プラットフォーム（ABiS）主催のシンポジウム開催について」を拝領し、理事へ転送した。
1月28日	日本歯科医学会より「令和3年度日本歯科医学会会長賞選考結果」を拝領した。被推薦者へ結果を報告した。
2月1日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第33号」を拝領し、理事へ転送した。
2月1日	日本歯科医学会連合より「令和4（2022）年度研究課題募集についてのご案内」を拝領し、理事へ転送した。
2月1日	日本歯科医師会・日本歯科衛生士会へ「地域活動賞」候補団体推薦依頼を郵送した。
2月8日	日本歯科医学会より「上原賞2021年度受賞者による受賞講演ライブ配信のご案内」、「第19回（令和4（2022）年度）日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について（依頼）」、「第74回保健文化賞候補者の推薦について（協力依頼）」、「学会長ご挨拶 令和4年2月号」を拝領し、理事へ転送した。
2月10日	日本歯科医学会より「「磁性アタッチメント」動画の日本歯科医学会HP等への掲載について」を拝領し、理事へ転送した。
2月10日	日本歯科医学会連合より「第5回大型医療研究推進フォーラム開催のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
2月14日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第35号」を拝領し、理事へ転送した。
2月14日	日本歯科医学会連合より「国際活動委員会からのアンケートへのご協力をお願い」を拝領し、理事・評議員へ転送した。
2月15日	日本歯科専門医機構運用審査がオンラインで開催され、吉成理事と山本理事が出席した。
2月16日	日本歯科医学会より「令和3年度厚生労働省医政局歯科保健課委託事業「歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等）」への協力依頼についてのお礼」を拝領し、会員へメール配信を行った。
2月16日	日本歯科専門医機構より「役員候補者選考会議委員選出について」を拝領した。
2月17日	日本歯科専門医機構より「役員候補者の推薦について」を拝領し、小方理事長を推薦した。
2月17日	「歯科健康診査推進事業（地域における歯科口腔保健状況の分析・評価等）」へのご協力への御礼を会員各位へ配信した。
2月18日	第107回日本歯科医学会評議員会がオンラインで開催された。
2月21日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第36号」を拝領し、理事へ転送した。
2月25日	日本歯科医学会連合より「第5回大型医療研究推進フォーラムの抄録を掲載しました」を拝領し、理事へ転送した。
2月28日	日本歯科医学会より「第107回評議員会の決定事項について」を拝領し、理事へ転送した。
2月28日	日本歯科医学会より「令和4年度診療報酬改定に係る答申書等について」を拝領し、理事へ転送した。
3月2日	日本歯科医学会より「日歯NEWS LETTER 第37号」を拝領し、理事へ転送した。
3月2日	「日本歯科医学会連合令和3年度臨時社員総会」がオンラインで開催され、佐藤秀一理事が出席した。
3月4日	日本歯科医学会より「令和4年度診療報酬改定に係る留意事項通知について」を拝領し、理事へ転送した。
3月4日	日本歯科専門医機構より「機構主催共通研修申込期間の再延長について」を拝領し、会員へ周知した。
3月7日	日本歯科医学会より「「系統的レビューワークショップ」（ランダム化比較試験のRisk

	of Biasについて) の開催についてを拝領し、理事へ転送した。
3月8日	日本歯科医師会より「開発中のアプリ掲載用の写真・図の提供について(お願い)」を拝領し、理事・評議員へ周知した。
3月10日	「都道府県歯科医師会社会保険担当理事連絡協議会」がオンラインで開催され、五味理事が出席した。
3月10日	「日本歯科専門医機構令和3年度理事会」がオンラインにて開催され、村上前理事長が出席した。
3月11日	「日本歯科専門医機構令和3年度臨時社員総会」がオンラインで開催され、佐藤秀一理事が出席した。
3月14日	日本歯科医学会より「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の一部改正について(通知)」を拝領し、理事へ転送した。
3月17日	日本歯科医学会より「第41巻オンラインジャーナル掲載のお知らせとアンケート回答のお願い」を拝領し、理事へ転送した。
3月23日	日本歯科医学会より「第13回(令和4(2022)年度)日本学術振興会 育志賞受賞候補者の推薦について(依頼)」を拝領し、理事へ転送した。
3月24日	日本歯科専門医機構より「令和3年度臨時社員総会における厚生労働省の発言について」を拝領した。
3月25日	日本歯科医学会より「ウクライナへの支援のための義援金募金について」を拝領し、理事へ転送した。
3月30日	日本歯科医学会より「日本歯科医学会／令和4年度 JDSR 執筆者推薦のお願い」を拝領し、理事へ転送した。
3月31日	日本歯科医学会より「歯科診療に関する基本的な考え方の学会HP公開につきまして」を拝領し、理事へ転送した。
3月31日	日本歯科医学会より「令和5年版歯科医師国家試験出題基準について」を拝領し、理事へ転送した。

【日本歯学系学会協議会・歯学系学会社会保険委員会連合関連】

9月9日	日本歯学系学会協議会より「地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム(SATREPS)令和4年度 研究提案募集開始」を拝領し、理事各位へ転送した。
10月8日	歯学系学会社会保険委員会連合より「『歯保連試案2021』販売ご協力について(お願い)」を拝領し、協力承諾として回答した。
10月13日	日本歯学系学会協議会より「歯保連試案2021」を拝領した。
11月10日	歯学系学会社会保険委員会連合が「歯保連2021発売に関する記者会見」を実施した。
11月12日	日本歯学系学会協議会より「日本咀嚼学会第27回咀嚼と健康ファミリーフォーラム開催のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
11月26日	日本歯学系学会協議会より「次期理事候補者推薦依頼」を拝領し、小方理事長へ候補者として推薦した。
12月17日	歯学系学会社会保険委員会連合より「日本睡眠歯科学会の歯保連加盟について」を拝領し、承認として回答した。
1月12日	日本歯学系学会協議会より「国際歯科学士会(ICD)日本部会 第52回冬期学会のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
1月24日	日本歯学系学会協議会より「日本デジタル歯科学会2021年度冬季セミナーのご案内」を拝領し、理事へ転送した。
2月21日	日本歯学系学会協議会より「学協会連携分科会「日本学術会議と国内の学協会連合等との連携に関する調査」報告会」を拝領し、理事へ転送した。
3月6日	歯学系学会社会保険委員会連合より「歯学系学会社会保険委員会連合役員改選について」を拝領し、承諾として回答した。
3月22日	日本歯学系学会協議会より「日本咀嚼学会主催セミナー「青年期の食育と咀嚼の大切さ」開催のお知らせ」を拝領し、理事へ転送した。
3月31日	日本歯学系学会協議会より「プロシーディング発行のご連絡について」を拝領し、理事へ転送した。

【その他】

9月13日	一世出版より「転載許諾のお願い」を拝領し、承諾として回答した。
9月15日	ガイドデントより「代表取締役社長交代のお知らせ」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月16日	第95回日本細菌学会総会より「広報のお願い」を拝領し、理事各位へ転送した。
9月17日	日本医療機能評価機構より、「歯周病患者における抗菌薬適正使用のガイドライン」のMinds掲載依頼があり、承諾として回答した。10月26日付で掲載された。
9月18日	沼津市健康づくり課より「転載許諾のお願い」を拝領し、承諾として回答した。
10月18日	口腔9学会脱タバコ社会実現委員会より「日本歯科新聞の「加熱式タバコ」に関する広告について」を拝領し、賛同する旨、回答した。
11月1日	日本学術会議より「活動と運営に関するご連絡」を拝領し、理事へ転送した。
11月8日	日本口腔インプラント学会より「50周年記念誌」を拝領した。
11月24日	クインテッセンス出版より「新聞クイント年頭企画「歯科人新年の一言」」を拝領し、小方理事長が対応した。
11月26日	小方理事長が日刊SPAの取材対応を行った。
11月29日	小学館「週刊ポスト」より取材協力をお願いがあり、小方理事長、三谷理事にて対応した。
12月2日	8020推進財団より「第19回フォーラム8020のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
12月2日	禁煙推進学術ネットワークより「禁煙治療・支援のためのeラーニング（J-STOP）の周知のお願い」を拝領し、会員各位へ配信した。
12月3日	日本学術会議より「第183回日本学術会議総会及び記者会見に関する御報告」を拝領し、理事へ転送した。
1月6日	禁煙推進学術ネットワークより、「ニコチン依存症治療用アプリの処方についての時限的条件緩和に関する要望書（案）」への賛同依頼があり、執行役員会協議の結果、賛同として回答した。
1月14日	菅谷勉先生より「転載許諾のお願い」があり、承諾として回答した。
1月17日	「第18回ヘルシー・ソサエティ賞候補者推薦のお願い」を拝領し、理事へ転送した。
1月19日	永末書店より「転載許諾のお願い」があり、承諾として回答した。
1月24日	（公財）西山デンタルアカデミーより「2021年度NDA歯科医療研究助成制度のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
1月25日	口腔9学会合同脱タバコ社会実現委員会の一面広告「われわれは加熱式タバコを含むあらゆるタバコの禁煙を推進します。」が日本歯科新聞に掲載された。
1月25日	日本有病者歯科医療学会より「創立三十周年記念式典開催のご案内」を拝領した。出席者の調整がつかず、欠席として回答した。当日、祝電を送付した。
1月26日	関西大学小川様より「「歯周病に関する知識の増進と知識獲得に伴う行動変容」調査内容に関するご教示のお願い」を拝領し、小方理事長が対応した。
2月1日	日本学術会議より「「日本学術会議の在り方に関する政策討議取りまとめ」について（会長メッセージ）」を拝領し、理事へ転送した。
2月1日	第一生命保険より「第74回保険文化賞候補者の推薦について」を拝領し、理事へ転送した。
2月4日	日本学術振興会より「第19回（令和4年度）日本学術振興会受賞候補者の推薦について」を拝領し、理事へ転送した。
2月7日	8020推進財団より「小冊子：マイナス1歳から始める母と子の歯育て～生涯おいしく食べるために～」を拝領。
2月7日	日本学術会議より「日本学術会議の在り方に関する政策討議取りまとめ」について（会長メッセージ）」を拝領し、理事へ転送した。
2月8日	サンスター財団より「「金田博夫研究助成基金 2022年度海外留学」募集再開のご案内」を拝領し、理事へ転送、ならびにホームページ掲載を行った。
2月8日	Mindsより「第23回診療ガイドライン作成に関する意見交換会の当日の動画およびアンケート結果の公開につきまして」を拝領し、現在進行中のガイドライン改定を進められている各委員会・WGへ転送した。
2月8日	日本学術会議より「持続可能な発展のための国際基礎科学年（IYBSSD2022）」へのご協力をお願いを拝領し、賛同として回答した。
2月9日	日本学術振興会より「第19回日本学術振興会賞受賞候補者の推薦について」を拝領し、理事へ転送した。
2月10日	@DIME（アットダイム）より取材依頼があり、小方理事長が対応した。

2月15日	学術著作権協会より「文化庁著作権課調査研究事業に関わるアンケートご協力のお願い」拝領し、理事・評議員へ転送した。
2月21日	ジンマー・バイオメット・デンタルより「社名変更のお知らせ」を拝領し、理事へ転送した。
2月28日	日本学術会議より「会長談話 「ロシアによるウクライナへの侵攻について」」を拝領し、理事へ転送した。
2月28日	日本学術会議より「活動と運営に関するご連絡」を拝領し、理事へ転送した。
3月1日	日本学術会議より「意見照会：第26期会員候補者の選考方針（原案）に係るご意見について」を拝領した。
3月2日	昭和薬品化工より「社名変更および住所移転のお知らせ」を拝領し、理事へ転送した。
3月2日	第34回日本レーザー歯学会学術大会より「ご後援のお願い」を拝領し、承諾として回答した。
3月2日	神奈川県健康増進課より、「転載許諾のお願い」があり、承諾として回答した。
3月2日	日本学術会議より「国際学術会議等によるウクライナに関するステートメントについて」を拝領し、理事へ転送した。
3月22日	日本口腔インプラント学会より「第52回学術大会における共催セッションに関するご依頼」を拝領し、承諾として回答した。
3月22日	禁煙推進学術ネットワークホームページにて「2022年2月の「禁煙の日」記事」が掲載された。
3月23日	日本学術振興会より「第13回育志賞募集のご案内」を拝領し、理事へ転送した。
3月31日	口腔保健協会より「理事長交代のお知らせ」を拝領し、理事へ転送した。

②会計報告（申理事・中山幹事）

新年度が始まったばかりなので、報告事項はございません。

(2) 各種委員会報告（小方理事長）

【研究委員会】

1. 研究者育成ファンドによる奨学金助成の選考について

本年度の応募者は1名であったが、その方より「申請時：大学院生であったが、現時点：助手（職種としては常勤扱い月給制、賞与等の支給はなく、1年任期）に採用されたため、受給要件を満たすかどうか」という申し出があり、選考委員会で協議を行った結果、現行規定では非常勤までが対象範囲なので、今回の採択者には辞退いただくよう案内する方針を確認した。これにより、本年度は採択者なしとなった。

2. 奨励賞選考結果について

1) 山崎恭子（新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野）

Oral Pathobiont-Induced Changes in Gut Microbiota Aggravate the Pathology of Nonalcoholic Fatty Liver Disease in Mice

Frontiers in Immunology

2) 畑野紗希（広島大学大学院医系科学研究科歯周病態学分野研究室）

The role of nuclear receptor 4A1 (NR4A1) in drug-induced gingival overgrowth

The FASEB Journal

3) 菅 毅典（福岡・菅歯科・小児歯科医院）

Characterization and Study of Gene Expression Profiles of Human Periodontal Mesenchymal Stem Cells in Spheroid Cultures by Transcriptome Analysis

Stem Cells International

4) 中尾雄紀（九州大学大学院歯学研究院歯周病学分野）

Exosomes from TNF- α -treated human gingiva-derived MSCs enhance M2 macrophage polarization and inhibit periodontal bone loss

Acta Biomaterialia

3. 令和4（2022）年度学術賞（LION Award）同シーズ育成若手奨励研究助成の募集を4月1日より開始した（締切：5月31日）

【ペリオドンタルメディシン委員会】

ガイドライン進捗状況

1. 5月末をもって統一フォーマットによるSoFテーブルと構造化抄録を完成

2. 6/2（木）委員会で推奨文の統一化に向けたレクチャーと討論

3. 7/29（金）委員会を開催予定：推奨文の確認とグレードを合議制で判定する予定

※その後、体裁を整え外部評価を行った後に、完成予定

【医療委員会】

1. 医療技術評価提案書対応（令和4年度診療報酬改定）

本学会より提出の口腔バイオフィルム検査が「口腔細菌定量検査」と名称を変えて、4月より保険収載された。保険点数は130点であり、今回は歯周組織検査が困難な障害（児）者及び在宅等において療養を行っている患者を対象としている。

これに伴い、新規に「口腔バイオフィルム感染症」という病名が設定された。また、その関連疾患として歯周炎、口腔粘膜炎、口臭の他、誤嚥性肺炎という医科病名が加えられた。

本学会より提出の歯周基本治療におけるp-curの削除が承認された。

歯周外科手術におけるp-cur術は現状のままである。

2024年度に向けて医療技術評価提案があれば事務局までご連絡頂きたい。

2. ガイドライン改定

A. 歯周治療のガイドライン2022（医療委員会対応）

ガイドラインが完成し、4月初めにpdf版としホームページに掲載した。冊子体は理事、関係機関、作成委員のみ配布を行った。

B. 歯周病患者における再生治療のガイドライン改定（ワーキンググループ対応）

2022年5月25日に第5回会議がZOOMにて開催予定。SoF tableの作り方の確認、論文リストと代表論文の構造化抄録の確認を行う予定。

3. その他

歯周治療におけるICTの利活用・デジタル化について検討することとなり医療委員会で対応する事となった。

【医療安全委員会】

1. 2021年度の歯科専門医共通研修「医療安全」のオンデマンド方式のビデオ作成

演者：広島大学病院 口腔総合診療科 河口浩之

演題：「医療の質と安全管理」を見つめ直す

ーノンテクニカルスキルからレジリエンスエンジニアリングまでー

視聴期間：1月20日～3月19日

2. 2022年秋季日本歯周病学会での歯科専門医共通研修「院内感染対策」の企画・立案

日時：2022年9月2日（金）8：50～9：50 仙台国際センター

演者：広島大学病院 感染症科 大毛宏喜 先生

演題：サイレントパンデミック

座長：東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 総合診療歯科学分野 新田 浩 先生

【認定医委員会】

1. 第27回認定医試験／第18回認定医更新について

申請受付期間：令和4（2022）年1月11日（火）～1月28日（金）

書類審査：令和4（2022）年2月10日（木）

筆記試験：令和4（2022）年6月2日（木）10:00-10:45 於 東京

合否判定会議と理事会承認：令和4（2022）年6月2日（木）

2. 第28回認定医試験／第19回認定医更新について

申請受付期間：令和4（2022）年6月27日（月）～7月15日（金）

書類審査：令和4（2022）年7月29日（金）

筆記試験：令和4（2022）年9月1日（木）10:00-10:45 於 仙台

合否判定会議と理事会承認：令和4（2022）年9月1日（木）

3. 認定医筆記試験問題について

1項理事に作問依頼した問題を集計し、試験問題を決定した。

4. 臨床ポスター賞について（認定医委員会・専門医委員会共同）

（第64回秋季学術大会発表，第65回春季学術大会表彰予定）

・最優秀ポスター賞

DP-56 二宮雅美（ニミヤ マサミ）先生（徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野）

「感冒後に重篤化した壊死性潰瘍性歯肉炎の一症例」

・優秀ポスター賞

DP-50 星 嵩先生（ホシ シュウ）先生（新潟・星歯科医院）

「上顎第一小臼歯の3度根分岐部病変に対してリグロス®と自家骨を併用した歯周組織再生療法を行なった一症例」

第65回春季学術大会発表分における事前審査：審査希望者は4月1日（金）締切で事前審査書類を事務局へ提出。

5. 下記規約類の改正を行った。

・認定医申請症例に関する資料の作成基準および送付方法の一部改正

・認定医制度規則一部改正について

①第64回秋季理事会にて発議がなされた「認定医資格要件に禁煙者要件を課すことについて」

②認定期限の一元化について

春季合格者 現行期限日を6/30まで延長する

秋季合格者 現行期限日を12/31まで延長する

③資格英語名称の追記

6. 「認定医・専門医申請における医薬品・医療機器等に関する考え方（薬機使用の考え方）」、「日本歯周病学会学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト（臨床ポスターチェックリスト）」を整備した。

7. 第65回春季学術大会時の認定医教育講演開催前に日本歯科専門医機構の共通研修履修の件、上記6の「薬機使用の考え方」、および「臨床ポスターで表示すべき4項目（利益相反・発表の患者同意・手術の患者同意・未承認薬不使用）」について30分程度、認定医・専門医両委員長より説明を行う。

【専門医委員会】

1. 第66回専門医新規申請の審査について

申請期間：令和3(2021)年11月22日(月)～12月10日(金) 消印有効

書類審査：令和4(2022)年1月21日(金) ハイブリッド開催

申請数：17名

ケースプレゼンテーション: 令和4(2022)年3月19日(土)

ハイブリッド開催(受験者 計13名はリモート参加)

理事会承認: 令和4(2022)年6月2日(水) (合格: 11名、再提出: 6名)

2. 第66回指導医新規申請, 専門医・指導医更新, 専門医研修施設新規申請・更新, 専門医委員会が認めた研修会の審査について

申請期間: 令和3(2021)年11月22日(月)~12月10日(金) 消印有効

書類審査: 令和4(2022)年1月21日(金) ハイブリッド開催

理事会承認: 令和4(2022)年6月2日(水)

指導医新規申請数: 3名(合格: 2名, 次回書類再提出: 1名)

専門医更新申請数: 38名(合格: 38名)

指導医更新申請数: 34名(合格: 33名, 単位不足のため更新不可: 1名)

研修施設新規申請数: 0施設

研修施設更新申請数: 9施設(合格: 9施設)

その他の研修会: 27件(合格: 27件)

3. 第67回専門医新規申請, 第67回指導医新規申請, 専門医・指導医更新, 専門医研修施設新規申請・更新, 専門医委員会が認めた研修会の審査について

申請期間: 令和4(2022)年6月13日(月)~7月1日(金) 消印有効

書類審査: 令和4(2022)年7月15日(金), ハイブリッド開催予定

ケースプレゼンテーション: 令和4(2022)年8月20日(土), ハイブリッド開催予定

理事会承認: 令和4(2022)年9月1日(木)

4. 日本歯科専門医機構「専門医運用審査」について

令和3(2021)年10月21日(木) 審査対象: 2021年度前期JSP認定の全専門医 Zoom開催

令和4(2022)年 2月15日(火) 審査対象: 2021年度後期JSP認定の全専門医 Zoom開催

【改善を要する点】

A) 新規認定時の筆記試験導入について

→第68回専門医新規申請(令和4(2022)年11, 12月頃)募集分より導入予定。

B) 認定期限の一元化について

→春季合格者 現行期限日を6/30まで延長する

秋季合格者 現行期限日を12/31まで延長する

C) 資格更新を一年前ではなく6か月前からとする件 →方針を確認した

D) 研修施設の申請, 更新における評価基準, 方法, 指導医の勤務体制について

→学会ホームページにある専門医研修施設プログラムをチェックリストとして提出した

E) 更新期限の延長期間の上限設定

→ライフイベント等による手続期間延長については最大2年間としていることを回答した

5. 下記規約類の改正を行った。

・専門医申請症例に関する資料の作成基準および送付方法の一部改正

・専門医制度規則一部改正について

①認定期限の統一について

春季合格者 現行期限日を6/30まで延長する

秋季合格者 現行期限日を12/31まで延長する

②資格英語名称の追記

【口腔インプラント委員会】

1. (1)インプラント周囲疾患の定義、(2)リスク因子、(3)治療法について歯周病学会としての見解を纏めるための作業確認会議(2022年1月13日(木)18:30~Zoom会議)を実施。それまでの作業で集めた直近までの文献をもとに、今後(1)~(3)につき次回会議までにレポートにまとめることとした。4月5日19:00~第2回zoom会議を実施し、レポートの報告会を実施した。その結果、(1)定義についてはAAPとEFPの定義に準拠すべき、(2)、(3)については、エビデンスが不足しており、結論を導き出すには至らなかったため、今後必要とされる調査、研究について提案できるよう作業を追加することとなった。春季学会での委員会で状況報告予定。

2. 春季学術大会での発表について

A) 委員会主導シンポジウム(シンポジウムⅡ)

蓮池 聡 委員「エビデンスからみたクロニクル」

林 丈一朗 委員「インプラント周囲炎の治療における非外科的対応を考える」

児玉 利朗 委員「インプラント周囲炎の治療:主に外科的対応」

B) ポスター発表(P-41)

上野 大輔 前委員「GRADEアプローチを用いた診療ガイドライン策定の試み ―CQ6 インプラント周囲炎骨内欠損の外科的処置に有効な骨補填材はありますか?―」

- 第52回日本口腔インプラント学会学術大会にて、日本歯周病学会共催特別シンポジウムを予定。本学会からは、座長 吉村篤利教授、三谷章雄教授、演者 辰巳委員長が発表予定。
- インプラント周囲疾患の定義、リスク因子、治療法についてエビデンスの纏めの公表方法について協議を行っている。

【歯科衛生士関連委員会】

- 第34回新規申請、第25回更新申請の審査について
申請期間：令和3(2021)年11月1日(月)～11月19日(金) 消印有効
書類審査：令和3(2021)年12月19日(日)
ケースプレゼンテーション：令和4(2022)年2月27日(日) WEB開催
理事会承認：令和4(2022)年6月2日(木)
- 第35回新規申請、第26回更新申請の審査について
申請期間：令和4(2022)年5月23日(月)～6月10日(金)
書類審査：令和4(2022)年6月26日(日)
ケースプレゼンテーション：令和4(2022)年8月7日(日)
理事会承認：令和4(2022)年9月1日(木)
- ベストデンタルハイジニスト賞について
(第64回秋季学術大会発表、第65回春季学術大会表彰予定)
HP-01 宇井みゆき 様(三重・菰野さむら歯科)
「ラポール確立の重要性を再認識した広汎型慢性歯周炎StageIV GradeC の一症例」
第65回春季学術大会発表分における事前審査：5月6日(金) 締切で事前審査書類を事務局へ提出
また、歯科衛生士の英語名称は「Dental Hygienist」であるため、正確性を期したく、ベストハイジニスト賞(BH賞)→ベストデンタルハイジニスト(BDH)賞への変更することを提案した。今回の受賞者より適用する。
- 歯科衛生士教育講演Bについて
・令和4(2022)年度
宮崎県・沖縄県にて開催予定。(日程・詳細については、決まり次第ホームページに掲載)
・令和5(2023)年度
福井県・徳島県にて開催予定。(日程・詳細については、決まり次第ホームページに掲載)
- 新国民向けホームページ掲載上での認定歯科衛生士の氏名・勤務先の掲載について
全認定歯科衛生士へ令和4(2022)年5月6日(金) 締切で確認を依頼した。
- 下記規約類の改正を行った。
・認定歯科衛生士申請症例に関する資料の作成基準および送付方法の一部改正
・認定歯科衛生士制度規則一部改正について
①第64回秋季理事会にて発議がなされた「認定歯科衛生士資格要件に禁煙者要件を課すことについて」
②認定期限の一元化について
春季合格者 現行期限日を6/30まで延長する
秋季合格者 現行期限日を12/31まで延長する
③資格英語名称の追記

【教育委員会】

- 実習用模型歯破折について
(株)ニッシンより、破折案件が発生した大学における対応(人工歯の材質改善)により破折件数が大幅に改善したことを令和3(2021)年度第4回常任理事会で報告した。対策として
・破折対策対象部位は複数根模型歯すべて(上下左右大臼歯)としたい
・対策実施は最速で5/10出荷分から対応可能
・対策実施までは予備模型歯の提供を継続する
との報告を受けた。
- 日本歯周病学会教育賞(令和3(2021)年度)の選考結果について
応募取組名：能動学習のための仕掛けを組み込んだ遠隔授業におけるグループ討議とピア・ラーニングによる臨床実地問題作成を通した学生の学びに関する検討
取組代表者：大澤 銀子(日本歯科大学附属病院総合診療科)

【編集委員会】

1. 編集委員会：新型コロナウイルス感染症対策のためメール会議
2. 令和3（2021）年度日本歯周病学会会誌賞選考結果（第63巻掲載）について

基礎論文

ヒノキチオールおよびシャクヤクエキスは*Porphyromonas gingivalis*の歯肉上皮細胞への感染を抑制する

筆頭著者：稲垣みずき

所属：日本ゼトック株式会社

日本歯周病学会会誌63巻3号 p.143-150

臨床論文

超音波スケーラーから発生するエアロゾルの特性と口腔内外吸引装置による拡散防止効果の検討

筆頭著者：高橋 直紀

所属：新潟大学大学院医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野

日本歯周病学会会誌63巻4号 p.171-182

【用語委員会】

1. 日本歯科医学会よりの依頼のあったICD-11和訳確認作業
令和3（2021）年11月22日に日本歯科医学会へ提出
2. 歯周病学用語集第3版等における用語の見直し 進行中
3. 歯周病学用語集第4版に向けて新規用語選定 進行中

【広報委員会】

1. 日本歯周病学会ホームページ Q&Aのアップデートについて
ホームページに掲載されているQ&Aの内容について、全理事のご協力の元、現状にそぐわなくなっていたQ&A内容すべてについて確認・修正を行なっていた。その後、広報委員会にて、まとめ、確認・体裁の修正を行い、令和3（2021）年12月に更新データがアップロードされた。
2. 日本歯周病学会 国民向け“新”ホームページについて
メール会議にて広報委員会で検討した国民向けサイトの大項目（フレームワーク）をベースに、掲載する主要なコンテンツ案を作成し、その各項目を理事に執筆していただいた。今後、執筆いただいた記事の内容について、確認していく予定である。また、web会議にて国民向け新サイトに表示されるタイトル案として「Perio Book」が提示されている。
3. 「歯周病の予防および治療法の更なる国民への周知」のためのビデオについて
歯周病の予防や治療の普及のために学会作成の啓発ビデオの作製を進めている。
第1弾は、若者をターゲットとしたビデオとし、動画の内容等について、小方理事長、高井康博 日本臨床歯周病学会理事長、今枝常晃 日本臨床歯周病学会広報委員と株式会社indi（企画）の担当者、株式会社BABEL LABEL（アニメーション）の担当者と歯周病学会事務局と広報委員長 三谷が参加してweb会議を行ってきた。キャラクターデザインはLINEスタンプや携帯待受画面画像で活躍されているカナヘイ様、声優はTV・映画アニメで活躍されている花江夏樹様が担当。ストーリーは「恋のような友情のような…ねことねずみのハートフルストーリーを楽しみながら、口腔ケアに役立つ知識を覚えて歯周病を防ごう！」という内容である。若者層での拡散のしやすさも意識して、タイトルは「にゃんかむちゅ〜」とし、全6話の短編アニメで歯周病やケアの大切さも伝えているインパクトある作品。良い歯の日（4.18）に動画が公開され、視聴回数は31万回以上となっており（アクセス日 2022年5月1日）、一般の若者を含む多くの方への啓発や歯科受診勧奨に貢献していると考えられる。
4. ニュースレター 令和4（2022）年度第1号（4月）発行
5. 功労賞について募集を開始
6. 会員カード管理システムの今後の運用方法について：「会員側がアクセスして取得単位を確認する」サービス導入を検討している。

【臨床研修委員会】

1. 令和4（2022）年度以降の臨床研修会開催については保留中
（群馬県、愛媛県、福井県、沖縄県が延期中）
2. 歯周治療の啓発のためのPDF『歯周基本治療 -進め方とポイント-』を4月に学会ホームページに掲載した

【臨床データベース委員会】

下記の実施計画に基づいて作業を進めて行くことを委員会内で確認

- (1) 小規模後ろ向きデータ収集 (100症例) の倫理申請
 - (2) パロットデータとして解析
 - (3) 上記の (2) の結果を踏まえて委員会内で追加症例を収集して解析
 - (4) 認定症例からのデータ収集のための申請フォーマット案を作成
 - (5) 大規模のデータ収集のための倫理申請、認定3委員会への依頼
 - (6) 認定制度の申請での運用を開始して大規模なデータを収集
- 現在、(1) について、委員の所属施設による多施設研究として委員長所属機関 (東京医科歯科大学) にて倫理審査申請中

【学会あり方委員会】

1. 「第55回若手研究者の集い」について
新型コロナウイルス感染拡大が収縮しないことから、Web形式で開催する
日 時 6月2日 (木) 18:00-20:00
参加者 50名 (5/19時点)
2. 「第8回若手研究者合宿 (旧・若手研究者の集い合宿研修会)」について
第65回秋季学術大会時に合わせて開催予定。前回同様、日帰り研修とする。
日 時 9月1日 (木) 夕方 (開始時刻は未定)
会 場 未定
定 員 未定
幹事 竹立匡秀 先生 (大阪大)
3. 令和3 (2021) 年度地域活動賞について
2月1日より募集を開始している。応募締切は5月31日である。
4. 令和4 (2022) 年度Young Investigator Award (SUNSTAR Award) について
今年度応募者: 3名。選考委員会を組織した。
5. 歯周治療のガイドライン2022英語版作成について
医療委員会と協力し「歯周治療のガイドライン2022」の内容を抜粋し、英語版を作成することとなった。現在、英訳費用の見積もりを手配している。

【健康サポート委員会】

1. 第25回日本顎顔面インプラント学会での発表
(令和3 (2021) 年12月12日 (日) 名古屋国際会議場)
シンポジウム3「インプラント治療の安全哲学—禁煙介入の新たな展開」(埴岡委員、稲垣委員長発表)
日本学術会議市民公開シンポジウム (第25回日本顎顔面インプラント学会と併催)
「口腔疾患の予防・治療・保健教育の場の喫煙防止・禁煙支援指導などの喫煙対策の場として活用すべきである」(埴岡委員、稲垣委員長発表)
2. 「加熱式タバコに関する警告喚起の見解」を令和3 (2021) 年11月8日に学会ホームページで公開した。
3. 口腔9学会合同脱タバコ社会実現委員会対応
 - 1) 会議対応: 各会議へ稲垣委員長、埴岡委員、中山委員がweb出席した。
第62回会議 (令和3 (2021) 年11月15日 (月) 19:00~21:00)
第63回会議 (令和3 (2021) 年11月29日 (月) 19:00~21:00)
第64回会議 (令和3 (2021) 年12月23日 (木) 19:00~21:00)
 - 2) 加熱式タバコに関する警告喚起の見解
加熱式タバコの喫煙についての注意喚起文書の配信 (令和4 (2022) 年1月11日 (火))
日本歯科新聞へ委員会名で一面広告を掲載 (令和4 (2022) 年1月25日 (火))
4. 禁煙推進学術ネットワーク対応
 - 1) 第45回定例会議/第3回禁煙推進学術ネットワーク学術会議: 埴岡委員、稲垣委員長が参加、発表 (令和3 (2021) 年11月27日 (土) 13:00~16:15 アクロス福岡)
 - 2) 禁煙治療・支援のためのeラーニング (J-STOP) の周知依頼があり、令和3 (2021) 年12月13日に OHASYSにて全会員へ配信した。
 - 3) 第46回定例会議 (令和4 (2022) 年2月9日 (水) Web): 埴岡委員、稲垣委員長が参加。
5. 「禁煙の日」活動について
令和3 (2021) 年10月分 第64回秋季学術大会時の活動報告
禁煙推進学術ネットワークホームページに掲載された (令和3 (2021) 年11月1日)。
令和4 (2022) 年2月分 禁煙支援パンフレットの掲載

2月の禁煙の日（2月22日）にあわせて、学会ホームページで公開した。同時に、禁煙推進学術ネットワークにおいて、日本歯周病学会での2月の取組として公開した。禁煙支援パンフレットの公開について、デンタルダイヤモンド5月号、DH style4月号に掲載された。また、クインテッセンス出版「歯科衛生士」、本パンフレットを含めた本学会の取組を、ザ・クインテッセンス「Guest Editorial」欄6月号、歯界展望News&Report6月号に掲載予定である。

令和4（2022）年3月分 歯周治療における禁煙支援の手順書の掲載

3月の禁煙の日（3月22日）にあわせて、平成30（2018）年の歯周治療における禁煙支援の手順書（日歯周誌，60(4):201-219, 2018）を改変した禁煙支援問診票とその評価の解説部分を学会ホームページで公開した。同時に、禁煙推進学術ネットワークにおいて、日本歯周病学会での3月の取組として公開予定である。

令和4（2022）年4月分 学会ホームページへ「口腔9学会合同脱タバコ社会実現委員会「脱タバコ意見広告ポスター」」を掲載

4月の禁煙の日（4月22日）にあわせて実施した。

6. 会員のweb喫煙状況調査の実施にあたり、倫理申請が2022年3月23日付けで承認された（承認番号：第JSP2021001号）。現在、web調査のためのフォームを作成中である。

【国際交流委員会】

1. KAP（Korean Academy of Periodontology）関連

- 1) 第65回春季学術大会での International Session に1演題の応募あり。
- 2) 本年はKAP派遣年。かつ3年に一度の調印式を実施する年である。

KAPより10月15日～16日にソウルで開催される第52回KAP大会において、小方理事長に特別講演をお願いしたいとの正式な依頼があった。調印式についても現地で調印式を行いたいとのこと。COVID-19感染拡大が収縮し、渡航可能であれば、JSP理事長、国際交流委員会委員長が出席する予定である。引き続き、渡航が難しい場合、調印式はWeb開催とさせて頂きたい旨、提案した。

2. CSP（Chinese Society of Periodontology）関連

- 1) 第65回春季学術大会での International Session に1演題の応募あり。
- 2) Yaping Pan CSP次期理事長が第65回秋季学術大会で代表講演。

3. AAP関連

- 1) AAP 22 フェニックス大会について

- ・登録人数：56名（5月10日現在）
- ・若手支援助成について：6月30日締切で受付中
- ・JACP-JSP ポスターセッション登録演題数：19題（5月10日現在） 現在も演題受付中
一般（基礎：11、臨床：5）、症例報告：2 歯科衛生：1

コロナ禍のため、開催形式についてAAP事務局に確認したところ、今回は基本的には現地参加形式で開催されるとの回答を得た。今回より料金区分：RG20（展示会場・ポスター会場のみ参加）が新設され、ポスター発表される歯科衛生士もこの区分で演題申込が可能である。

- ・プロモーション対応

- A) 「JACPとJSP会員の皆様へ！」としたプロモーションビデオを2/22に学会ホームページへ掲載した。
- B) AAPより、JSP・JACP両理事長あてに200文字程度のメッセージを頂きたいとの依頼があり、両理事長に対応していただいた。

- ・調印式

7月末に横浜で開催予定の日本臨床歯周病学会40周年記念大会へAAP会長が訪日を予定されている。そこで調印式を実施したい旨、AAPより提案があった。詳細は調整中である。

- ・その他

- A) 現地参加のケースを想定して、感染対策に関する文書と入国がスムーズに行えるよう学会参加証明の発行をAAPに依頼。参加登録後に個別に対応。
- B) サムライナイトはJACP谷口先生経由でモリタ様へ開催意向を確認している。
- C) Pan Pacific Session（PPS）について：

これまでのPPSではJSPとJACPの学術大会、年次大会のプログラム発送に合わせてPPSのパンフレットを同封していた（JSPの場合、春季学術大会のプログラム発送に合わせて同封）。COVID-19感染状況が流動的であるため、今回はパンフレットを印刷せず、PDFとして会員にメールやHPで周知を図る。

4. 第65回春季学術大会時の International Sessionについて

- 1) 海外枠としてKAP, CSP, フィリピンより各1演題の応募あり。

2) 国内枠1 演題の応募あり。

5. APSP関連

1) The 14th APSP meetingが2022年8月29～30日に開催予定。

2) The 15th APSP meetingが2024年にベトナムで開催予定。

【倫理委員会】

1. 倫理審査申請時にe-Learning受講を必須とすることをホームページに掲載した。

2. 倫理申請について：審査中2件、審査終了1件

3. 倫理委員会企画講演（第65回秋季日本歯周病学会学術大会）

演者：高島 響子 先生

（国立国際医療研究センター臨床研究センター臨床研究統括部生命倫理研究室）

演題：人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の内容と2022改正

【利益相反委員会】

特になし

【会則委員会】

下記規約の整備を行った。

1. オンライン投票導入に伴い、「理事選任に関する内規」の一部改正を実施した。

2. 各賞表記の整理に伴い、各規約の一部改正を実施した。

- ・日本歯周病学会学会賞規程
 - ・日本歯周病学会学術賞規程
 - ・日本歯周病学会奨励賞規程
 - ・日本歯周病学会会誌賞規程
 - ・日本歯周病学会功労賞規程
 - ・日本歯周病学会優秀臨床ポスター賞規程
 - ・日本歯周病学会ベストデンタルハイジニスト賞規程
 - ・日本歯周病学会教育賞規程
 - ・日本歯周病学会Young Investigator Award規程
 - ・日本歯周病学会地域活動賞規程
3. 認定3委員会より、認定有効期限の統一、歯科専門医機構「共通研修」再編にともない対応の提案を受け、下記規約の一部改正を実施した。
- ・認定医制度規則
 - ・専門医制度規則
 - ・専門医制度施行細則
 - ・専門医審査施行細則
 - ・指導医制度規則
 - ・認定歯科衛生士制度規則

(3) 学術大会報告

①第64回秋季学術大会開催報告（三谷理事）

2022年 1月 26日現在

第64回秋季日本歯周病学会学術大会開催完了報告

1. 会期：（現地開催）2021年10月15日（金）～ 10月16日（土）
（WEB開催） 11月01日（月）10時～11月30日（火）17時
2. 会場：名古屋国際会議場
3. 担当（主管校）：愛知学院大学歯学部歯周病学講座
大会長：三谷 章雄
準備委員長：菊池 毅
4. テーマ：歯周治療でおいしい人生をサポート
5. 学術大会参加者
総数 4,853名
有料参加者 4,573名（事前早期3,140名、事前後期861名、当日登録177名、WEB参加登録395名）
正会員（歯科医師・医師ほか）2,904名
準会員（上記以外） 1,332名
非会員（歯科医師・医師）42名
非会員（上記以外） 287名
学生 8名
招待・関係者 83名（非会員講師19名、名誉会員31名、KAP16名、大会校関係者17名）
後援団体 17名（17団体）プレス 10名（5社）
市民公開講座 170回（視聴ログより算出）

当日来場者人数 合計 804名（正会員716名、非会員88名）
WEB参加人数 3,600名（WEB配信システム視聴ログより算出 ※1アカウント1名）

6. プログラム概要

総会・評議員会・表彰式・地域活動賞受賞講演、特別講演Ⅰ、特別講演Ⅱ、教育講演
シンポジウムⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、歯科衛生士シンポジウム
認定医・専門医教育講演・歯科衛生士教育講演、
倫理委員会企画講演、市民公開講座、S Y I A口演（ランチョンセミナー）
ランチョンセミナーⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、スイーツセミナー、一般演題口演、歯科衛生士口演
一般演題ポスター、臨床（認定医・専門医）ポスター

○演題数：合計 158 題

- ・一般演題口演 31 演題、・歯科衛生士口演 4 演題、・一般演題ポスター 54 演題
- ・臨床（認定医・専門医）ポスター 59 演題、・歯科衛生士症例ポスター 10 演題

7. 後援・協賛

- ・展示企業 60 社 （書籍展示 3 社）
- ・後援 17 団体 ・バナー広告 1 社 ・共催企業 6 社
- ・抄録広告掲載 14 社 ・寄付（企業・団体） 2 件

第64回秋季日本歯周病学会学術大会 収支決算報告書

<収入の部>

(単位:円)

項 目	単価	数量	収 入	摘 要
1. 参加登録費		4,573	24,663,000	
【事前・早期】		3,140	13,847,000	
正会員（歯科医師・医師）	5,000	2,015	10,075,000	
準会員（上記以外）	3,000	953	2,859,000	
非会員（歯科医師・医師）	10,000	13	130,000	
非会員（上記以外）	5,000	156	780,000	
学生	1,000	3	3,000	
【事前】		861	6,471,000	
正会員（歯科医師・医師）	8,000	548	4,384,000	
準会員（上記以外）	6,000	234	1,404,000	
非会員（歯科医師・医師）	13,000	13	169,000	
非会員（上記以外）	8,000	64	512,000	
学生	1,000	2	2,000	
【当日】		177	1,396,000	
正会員（歯科医師・医師）	8,000	88	704,000	
準会員（上記以外）	6,000	32	192,000	
非会員（歯科医師・医師）	13,000	13	169,000	
非会員（上記以外）	8,000	41	328,000	
学生	1,000	3	3,000	
【WEB参加登録】		395	2,949,000	
正会員（歯科医師・医師）	8,000	253	2,024,000	
準会員（上記以外）	6,000	113	678,000	
非会員（歯科医師・医師）	13,000	3	39,000	
非会員（上記以外）	8,000	26	208,000	
学生	1,000	0	0	
2. 抄録集販売費	2,000	25	50,000	
3. 共催セミナー		5	1,250,000	
共催セミナー（ランチョンセミナー）	250,000	4	1,000,000	
共催セミナー（スイーツセミナー）	250,000	1	250,000	
4. 企業展示出展料			4,560,000	
賛助会員	70,000	24	1,680,000	
その他一般企業	80,000	36	2,880,000	
5. 書籍展示出展料			150,000	
賛助会員	30,000	5	150,000	
その他一般企業	40,000	0	0	
6. 抄録集広告掲載料		17	930,000	
表2/表3	100,000	2	200,000	
後付1頁カラー（賛助会員）	80,000	0	0	
後付1頁モノクロ（賛助会員）	50,000	6	300,000	
後付1頁モノクロ（非賛助会員）	60,000	5	300,000	
後付半頁モノクロ（賛助会員）	30,000	1	30,000	
後付半頁モノクロ（非賛助会員）	40,000	1	40,000	
バナー広告	30,000	2	60,000	
7. 寄附金・助成金			14,198,133	
日本歯周病学会本部				
学術大会補助金			10,000,000	
市民公開講座補助金			100,000	
歯科衛生士教育講演補助金			200,000	
認定医・専門医教育講演補助金			200,000	
SYIA開催補助金			200,000	
大都市開催支援金			2,000,000	
KAP関係者参加登録費（当日）			128,000	
学会本部主導型シンポジウム			220,133	
歯科衛生士シンポジウム宿泊補助			20,000	
名古屋市MICE開催補助金			1,000,000	
その他				
寄付金		2	130,000	
8. 雑収入	利息		67	
合 計			45,801,200	

第64回秋季日本歯周病学会学術大会 収支決算報告書

<支出の部>

項目	支出	摘要
1. 事前準備費	13,956,583	
1) 事務局費	1,835,000	事務局人件費、打合せ交通費、備品費等
2) 主催者事務関係費	515,291	大会校事務備品、データ保管用サーバー等
3) Web関連費	1,453,877	学術大会HP作成費
4) 参加登録システム関連費	3,175,180	参加登録システム、登録者管理費
5) 演題登録関連費	0	
6) オンデマンド関連費	3,720,000	WEB配信システム構築費、配信関係費
7) 通信運搬費	672,135	ポスター、趣意書、各種依頼状発送費
8) 印刷・製作費	2,585,100	ポスター、封筒類、参加証印刷費等
2. 当日運営費	25,320,357	
1) 会場費	6,199,363	会場費（取消料金含む）
2) 料飲関係費	400,144	
3) 当日運営人件費	2,847,000	
4) 機材・備品関連費	5,590,470	
5) 看板・展示関連費	3,537,800	会場関係図面製作費
6) 感染症対策関係費	2,028,000	COVID19感染防止対策備品
7) 招聘・接遇費	4,717,580	謝金、旅費、謝金振込、源泉対応、お礼状、記念品等
3. 事後処理費	20,000	
1) 事後処理費	20,000	
4. 全体進行管理費（8%）	2,828,622	運営会社日本旅行への作業依頼の8% 35,357,772円
小計	42,125,561	
消費税	3,675,639	消費税10% 3,656,059円 非課税19,580円
合計	45,801,200	
収支差額	0	
収入-支出	0	

②第65回秋季学術大会準備状況報告（山田理事）

第65回秋季学術大会準備状況報告

2022年5月12日現在

第65回秋季日本歯周病学会学術大会 開催概要

- 会期：令和4年（2022年）9月1日（木曜）、2日（金曜）、3日（土曜）
- 会場：仙台国際センター（宮城県仙台市）、オンデマンド配信
- 大会長：東北大学大学院歯学研究科 歯内歯周治療学分野 山田 聡
- 準備委員長：東北大学大学院歯学研究科 歯内歯周治療学分野 根本英二
- テーマ：「世界を先導する歯周病学を目指して」
- 演題登録期間：2022年4月18日～5月12日
- プログラム概要

大会前日：9月1日（木曜）

認定医筆記試験、各種委員会、理事会、理事懇親会

大会1日目：9月2日（金曜）

・特別講演I

座長：山田 聡（東北大学大学院歯学研究科）

講演者：山本雅之先生（東北メディカル・メガバンク機構機構長、東北大学大学院医学系研究科教授）

・シンポジウムI

「AIが拓く医療の近未来」

座長：村上伸也先生（大阪大学大学院歯学研究科）

講演者：中澤 徹先生（東北大学大学院医学系研究科教授）

アサン・バドルル先生（フィリップス・ジャパン データサイエンティスト）

土井千章先生（NTTドコモ・東北大学大学院歯学研究科客員准教授）

未定（大阪大学大学院歯学研究科）

- ・シンポジウムII
「歯周組織の分子基盤－疾患形成・病態の解明と臨床への応用－」
座長：山田 聡（東北大学大学院歯学研究科）
講演者：山城 隆先生（大阪大学大学院歯学研究科教授）
山田将博先生（東北大学大学院歯学研究科准教授）
鈴木茂樹先生（東北大学大学院歯学研究科講師）
- ・総会・評議員会・表彰式
- ・CSP代表講演
畢良佳先生（CSP理事長）：ビデオ発表＋ライブでの質疑応答
- ・Young Investigator Award（YIA）
未定
- ・一般口演、歯科衛生士口演、ランチョンセミナー、一般演題ポスター、企業展示

大会2日目：9月3日（土曜）

- ・特別講演II
座長：山田 聡
講演者：George Hajishengallis先生（ペンシルバニア大学歯学部教授）
ビデオ発表＋ライブでの質疑応答
- ・シンポジウムIII
「EBMに基づいた歯周組織再生療法の現在と未来」
座長：江澤庸博先生（吉祥寺南歯科 院長）
北村正博先生（大阪大学大学院歯学研究科准教授）
講演者：北村正博先生（大阪大学大学院歯学研究科准教授）
中山洋平先生（日本大学松戸歯学部准教授）
大月基弘先生（DUOデンタルクリニック院長）
- ・認定医・専門医教育講演
座長：山本松男先生（認定医委員会委員長）
講演者：林丈一朗先生（明海大学歯学部教授）
- ・倫理委員会企画講演（日本歯科専門医機構共通研修）
座長：中島啓介先生（倫理委員会委員長）
講演者：高島響子先生（国立国際医療研究センター）
「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の内容と2022改正」（仮題）
- ・医療安全委員会企画講演「院内感染」（日本歯科専門医機構共通研修）
座長：新田 浩先生（東京医科歯科大学）
講演者：大毛宏喜 先生（広島大学病院）
「サイレントパンデミック」
- ・歯科衛生士教育講演
座長：小田 茂先生（歯科衛生士関連委員会委員）
講演者：星 嵩先生（医療法人星仁会星歯科医院）
「新しい歯周病の診断基準」（仮題）
- ・歯科衛生士シンポジウム（宮城県歯科衛生士会後援）
「歯科衛生士による要介護高齢者の日常生活支援：その現状と課題」
座長：服部佳功先生（東北大学大学院歯学研究科教授）・岡橋美奈子先生（宮城県歯科衛生士会 副会長）
講演者：片桐美由紀先生（特別養護老人ホーム まほろばの里 向山歯科衛生士）
岸さやか先生
（仙台歯科医師会 在宅訪問・障害者・休日夜間歯科診療所歯科衛生士）
前澤葉子先生（東北大学病院歯科衛生士）
- ・一般口演、臨床ポスター、歯科衛生士症例ポスター、企業展示
- ・市民公開講座
未定

第65回秋季日本歯周病学会 会場使用計画 設営日 9月1日(木)

会場名	階数	部屋名	m ²	収容	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				
仙台国際センター																								
A会場	1F	大ホール	－	シアター1,000席→500席										設営	全体オリエン	会場オリエン		理事記念写真						
試験会場⇒理事会⇒B会場	2F	橘	463m ²	試験2名掛けスクール90名⇒理事会口の字60席⇒シアター284席			本部様準備	受験者入場	認定医筆記試験	レイアウト変更(2名掛けスクール⇒60名口の字)					理事会			B会場へ設営変更						
C会場	2F	萩	379m ²	シアター400席→220席										設営	会場オリエン	調整								
ポスター会場	2F	桜1・2	755m ²	－			ポスターパネル設営																	
展示会場 休憩スペースなし						Wifi		60小間	展示設営			企業搬入		調整										
D会場	3F	白樺1・2	360m ²	シアター400席→250席										設営										
各種委員会⇒クローク2	1F	小会議室1	91m ²	口の字24席						各種委員会				設営(クローク棚搬入)	クロークオリエン	調整								
各種委員会⇒クローク1	1F	小会議室2	93m ²	口の字24席						各種委員会				設営(クローク棚搬入)	クロークオリエン	調整								
総合受付	2F	ロビー	－	－	受付設営	オリエンテーション	受付(理事、委員)																	
PC受付			－	－									PC受付設営											
控室	1F	大ホール控室A	18m ²	－																				
控室	1F	大ホール控室B	18m ²	－																				
控室	1F	大ホール控室C	18m ²	－																				
控室	1F	大ホール控室D	18m ²	－																				
託児	1F	和室	10畳2間	－														託児室設営						
学会本部	1F	小会議室3	53m ²	島組8席	Wifi	学会本部控室																		
運営本部	2F	小会議室4	65m ²	島組16席	Wifi	運営本部																		
控室	2F	小会議室5	65m ²	口の字20席				各種委員会																
控室	2F	控室5	22m ²	口の字12席				各種委員会(口の字)																
控室	2F	控室6	22m ²																					
控室	2F	控室7	22m ²	口の字12席				各種委員会(口の字)																
控室	2F	控室8	22m ²																					
控室	3F	小会議室6	62m ²	口の字20席				各種委員会																
控室	3F	小会議室7	62m ²	口の字20席				各種委員会																
理事控室	3F	小会議室8	86m ²	口の字28席				Wifi	理事控室															
メトロポリタン仙台																								
理事懇親会	3F	曙	410m ²	着席ビュッフェ140席 天井高3m				別催事										理事懇親会準備			理事懇親会(19:00-21:00)			
理事懇親会受付	3F	ロビー	－	－														受付						
クローク	3F	クローク(ホテル既設)	－	－																	クローク(ホテル対応)			
待合	3F	藤	－	－				別催事													待合			
理事記念撮影	5F	写真室	－	－																	記念写真			
会場名	階数	部屋名		収容	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22				

第65回秋季日本歯周病学会 会場使用計画 1日目 9月2日(金)

会場名	階数	部屋名	m ²	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
仙台国際センター																			
A会場	1F	大ホール	-	シアター1,000席→500席	準備	開会式	医療安全委員会企画講演	スタン	特別講演 I	総会 評議員会 表彰式・受賞講演	YIA口演	シンポジウム I			シンポジウム II				
B会場	2F	橘	463m ²	シアター500席→284席	準備	60分間	CSP代表講演				ランチョン I	一般演題口演(4題)	スイツセミナー 枠 I	一般演題口演(8題)					
C会場	2F	萩	379m ²	シアター400席→220席	準備		一般演題口演(5題)	一般演題口演(5題)			ランチョン II	歯科 衛生士 口演(4題)	スイツセミナー 枠 II	一般演題口演(8題)					
ポスター会場	2F	桜1・2	755m ²	-	準備	ポスター掲示										ポスター 討論	撤去	ポスター番号 貼り替え	
展示会場 休憩スペースなし					準備	Wifi	60小間 企業展示												
D会場	3F	白樺1・2	360m ²	シアター400席→250席	準備		準備			ランチョン III (予備)									
クローク2	1F	小会議室1	91m ²	ロの字24席	準備	クローク2													
クローク1	1F	小会議室2	93m ²	ロの字24席	準備	クローク1													
総合受付	2F	ロビー	-	-	準備	総合受付													
PC受付			-	-	準備	PC受付													
控室	1F	大ホール控室A	18m ²	-															
控室	1F	大ホール控室B	18m ²	-															
控室	1F	大ホール控室C	18m ²	-															
控室	1F	大ホール控室D	18m ²	-															
託児	1F	和室	10畳2間	-		託児													
学会本部	1F	小会議室3	53m ²	島組8席	Wifi	学会本部控室													
運営本部	2F	小会議室4	65m ²	島組16席	Wifi	運営本部													
控室	2F	小会議室5	65m ²	ロの字20席															
控室	2F	応接室	45m ²	応接セット6, 7名															
控室	2F	控室3	22m ²	椅子12脚															
控室	2F	控室4	22m ²	ソファーセット 5,6名															
控室	2F	控室5	22m ²	ロの字12席															
控室	2F	控室6	22m ²																
控室	2F	控室7	22m ²	ロの字12席															
控室	2F	控室8	22m ²																
控室	3F	特別応接室	60m ²	応接セット8, 9名															
控室	3F	小会議室6	62m ²	ロの字20席															
控室	3F	小会議室7	62m ²	ロの字20席															
理事控室	3F	小会議室8	86m ²	ロの字28席	Wifi	理事控室													
会場名	階数	部屋名		7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
			収容	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30

第65回秋季日本歯周病学会 会場使用計画 2日目 9月3日(土)

仙台国際センター																					
A会場	1F	大ホール	-	シアター1,000席→500席		準備	受講票配布	倫理委員会 企画講演	スタンフ	特別講演Ⅱ				ランチョンⅣ		シンポジウムⅢ		授賞式	認定医・ 専門医 教育講演	スタンフ	撤収
B会場	2F	橋	463㎡	シアター500席→284席		準備	60分間	一般演題口演 (6題)		A会場 サテライト				ランチョンⅤ		A会場 サテライト		スタンフ		撤収	
C会場	2F	萩	379㎡	シアター400席→220席		準備	準備	歯科衛生士 シンポジウム	授賞式	歯科衛生士 教育講演	スタンフ		ランチョンⅥ		スイツセミナー 枠Ⅲ		A会場 サテライト	スタンフ		撤収	
ポスター会場	2F	桜1・2	755㎡	-		準備		ポスター掲示	ポスター 展示・閲覧								ポスター 討論	撤去	撤収		
展示会場 休憩スペースなし						準備	Wifi	60小間 企業展示								企業搬出		撤収			
D会場	3F	白樺1・2	360㎡	シアター400席→250席		準備	準備	C会場 サテライト	スタンフ	ランチョンⅦ			スイツセミナー 枠Ⅳ		A会場 サテライト	スタンフ	設 置	受付・ 開場	市民公開講座	撤収	
クローク2	1F	小会議室1	91㎡	口の字24席		準備	クローク2														
クローク1	1F	小会議室2	93㎡	口の字24席		準備	クローク1														
総合受付	2F	ロビー	-	-		準備	総合受付														撤収
PC受付			-	-		準備	PC受付														撤収
控室	1F	大ホール控室A	18㎡	-																	
控室	1F	大ホール控室B	18㎡	-																	
控室	1F	大ホール控室C	18㎡	-																	
控室	1F	大ホール控室D	18㎡	-																	
託児	1F	和室	10畳2間	-																	
学会本部	1F	小会議室3	53㎡	島組8席		Wifi	学会本部控室														
運営本部	2F	小会議室4	65㎡	島組16席		Wifi	運営本部														
控室	2F	小会議室5	65㎡	口の字20席																	
控室	2F	応接室	45㎡	応接セット6, 7名																	
控室	2F	控室3	22㎡	椅子12脚																	
控室	2F	控室4	22㎡	ソファーセット 5,6名																	
控室	2F	控室5	22㎡																		
控室	2F	控室6	22㎡	口の字12席																	
控室	2F	控室7	22㎡																		
控室	2F	控室8	22㎡	口の字12席																	
控室	3F	特別応接室	60㎡	応接セット8, 9名																	
控室	3F	小会議室6	62㎡	口の字20席																	
控室	3F	小会議室7	62㎡	口の字20席																	
理事控室	3F	小会議室8	86㎡	口の字28席		Wifi	理事控室														
会場名	階数	部屋名		収容	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	

第66回春季日本歯周病学会学術大会 開催概要

1. 会期：令和5年（2023年）5月25日（木）、26日（金）、27日（土）
2. 会場：レグザムホール、香川県立ミュージアム、ホテルクレメント高松
3. 大会長：徳島大学大学院医歯薬学研究部 歯周歯内治療学分野 湯本浩通
4. 準備委員長：徳島大学病院 歯周病科 成石浩司
5. 学会テーマ(案)：「歯周病」を語ろう！ ～その原点から未来へ～
6. 演題登録期間：検討中
7. プログラム概要：

大会前日：認定医筆記試験、各種委員会、理事会、写真撮影、理事懇親会、若手研究者の集い
大会1日目・2日目

・特別講演I

座長：湯本 浩通(徳島大学大学院医歯薬学研究部歯周歯内治療学分野)

講演者：竹内 理 教授・京都大学大学院医学研究科・医学専攻分子生体統御学講座・医化学分野
「自然免疫機構と炎症制御(仮題)」

・特別講演II

座長：小方 頼昌 先生(日本大学松戸歯学部歯周治療学講座)

講演者：佐田 政隆 教授・徳島大学大学院医歯薬学研究部・循環器内科学分野
「生活習慣病としての動脈硬化症などの循環器疾患に対するアプローチ(仮題)」

シンポジウムI

「歯周病の基礎研究から炎症制御・病態機序(仮題)」

座長：多部田康一先生(新潟大学医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野教授)

講演者：稲垣 裕司先生(徳島大学病院・歯周病科・講師)

未定

未定

・シンポジウムII

「歯周病による医科疾患の重症化リスク(仮題)」

座長：小方 頼昌 先生(日本大学松戸歯学部歯周治療学講座)

講演者：吉成 伸夫 先生(松本歯科大学歯科保存学講・歯周)

片桐 さやか 先生(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯周病学分野)

青山 典生 先生(神奈川歯科大学歯学部歯科保存学講座歯周病学分野)

・シンポジウムIII

「新たな領域を開拓する歯周病専門医の挑戦～未来の歯周病専門家たちへ～(仮題)」

座長：高柴 正悟 先生(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科歯周病態学分野)

講演者：浦野 智 先生(医療法人浦野歯科診療所)

澤田 弘一 先生(鏡野町国民健康保険上齋原歯科診療所)

新田 浩 先生(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科総合診療歯科学分野)

・専門医機構研修単位講演：「院内感染対策」

講演者：村上 圭史 教授・川崎医療福祉大学医療技術学部・臨床栄養学科

・歯科衛生士シンポジウム

「高齢者の歯周管理の重要性(仮題)」

座長：日野出 大輔 教授(徳島大学大学院医歯薬学研究部・口腔保健衛生学分野)

講演者：土井 登紀子先生(徳島大学大学院医歯薬学研究部)

「高齢者を対象とした疫学研究から」

川柴 淑先生(徳島県歯科衛生士会)

「地域保健の現場から」

佐久間 愛先生(麻生歯科クリニック・静岡市)

「歯科臨床の現場から」

コメンテーター：吉岡 昌美 教授(徳島文理大学保健福祉学部・口腔保健学科)

AAP調印式・AAP会長記念講演：国際交流委員会
KAP理事長招待講演：国際交流委員会
国際セッション口演：国内4題、国外4題の計8演題を予定
総会・評議員会・表彰式
学会学術賞受賞記念講演
認定医専門医教育講演：専門医委員会・認定委員会
歯科衛生士教育講演：歯科衛生士関連委員会
倫理委員会企画講演：倫理委員会
医療安全委員会企画講演：医療安全委員会
一般演題口演・ポスター発表、臨床（認定医・専門医）ポスター発表、歯科衛生士症例ポスター発表
ランチョンセミナー・スイーツセミナー
企業展示
市民公開講座

④第66回秋季学術大会準備状況報告（吉村理事）

第66回秋季日本歯周病学会学術大会準備報告

第66回秋季日本歯周病学会学術大会 開催概要

1. 会期：令和5年（2023年）10月12日（木）、10月13日（金）、10月14日（土）
2. 会場：出島メッセ長崎（長崎県長崎市）
3. 大会長：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯内歯周治療学分野 吉村 篤利
4. 準備委員長：長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 歯内歯周治療学分野 柳口 嘉治郎
5. テーマ：「グローバルな歯周治療」
6. 演題登録期間：未定
7. プログラム概要

大会前日：10月12日（木）

認定医筆記試験、各種委員会、理事会、理事懇親会

大会1日目：10月13日（金）

特別講演Ⅰ 佐々木 敏 先生（東京大学大学院社会予防疫学）

特別講演Ⅱ 協議中

シンポジウムⅠ 地域医療について 角 忠輝 先生、野中 愛恵 先生 他

シンポジウムⅡ 協議中

総会・評議員会・表彰式、YIA、一般口演、

歯科衛生士口演、ランチョンセミナー、一般演題ポスター、企業展示

大会2日目：10月14日（土）

特別講演Ⅲ 野中 愛恵 先生（長崎大学総合歯科臨床教育学）

シンポジウムⅢ 協議中

認定医・専門医教育講演 認定医・専門医委員会より依頼あり

歯科衛生士教育講演 歯科衛生士委員会より依頼あり

市民公開講座、一般講演、ランチョンセミナー

臨床ポスター、歯科衛生士症例ポスター、企業展示

⑤その他の学術大会報告（小方理事長）

日本歯周病学会 学術大会開催予定

大会	日時	会場	担当校・大会長
令和4年度 春季学術大会（第65回）	2022/6/2, 3, 4	京王プラザホテル	日本大・歯 保存 3・佐藤秀一教授
秋季学術大会（第65回）	2022/9/1, 2, 3	仙台国際センター	東北大 歯内歯周治療学・山田聡教授 （プログラム委員長 小方頼昌教授）
令和5年度 春季学術大会（第66回）	2023/5/25, 26, 27	ホテルクレメント高松、レクザムホール、香川県立ミュージアム	徳島大 歯内歯周治療学・湯本浩通教授
秋季学術大会（第66回）	2023/10/12, 13, 14	出島メッセ長崎	長崎大 歯内歯周治療学・吉村篤利教授 （プログラム委員長 村上伸也教授）
令和6年度 春季学術大会（第67回）	2024/5/23, 24, 25	場所：ビックパレットふくしま	奥羽大・歯 歯周病学・高橋慶壮教授
秋季学術大会（第67回）	2024/10/3, 4, 5	場所：札幌コンベンションセンター	北海道大 歯周・歯内療法学・菅谷 勉教授 （プログラム委員長 村上伸也教授）
令和7年度 春季学術大会（第68回）	2025	場所：未定	東京医科歯科大 歯周病学・岩田隆紀教授
秋季学術大会（第68回）	2025	場所：未定	新潟大 歯周診断・再建学・多部田康一教授 （プログラム委員長 小方頼昌教授）
令和8年度 春季学術大会（第69回）	2026	場所：未定	朝日大 歯周病学・辰巳順一教授
秋季学術大会（第69回）	2026	場所：未定	未定 （プログラム委員長 小方頼昌教授）

(4) その他

①日本歯科専門医機構における学会対応について（小方理事長、村上前理事長、吉成理事、山本理事）

1) 認定証と認証に関わる受益者負担（経費負担）について

令和3年度春季総会時に示した方針の通りとする（以下再掲）

- A) 機構の認証を受けるに際し、その審査料として、概ね一万円／申請者が請求されている。今後この金額が変更される可能性はあるものの、今後新規および更新の申請をする際には従来の経費に加え、機構による審査料が付加されることとなる。尚、移行措置として、令和元（2019）～5（2023）年度分については、その追加経費を学会で負担する。
- B) 上記の結果、今後は当学会および機構より、それぞれ認定証が届くこととなる。

2) 専門医制度運用審査対応

日本歯科専門医機構2021年度前・後期運用審査にて、専門医制度運用について改善を要する旨、指摘を受けた。認定医・専門医委員会、常任理事会ならびに理事会での議論の結果、下記方針を決定した。

A) 専門医新規認定時の筆記試験導入について

→第68回専門医新規申請（令和4（2022）年11、12月頃）募集分より導入予定。

B) 認定期限日の統一について

→現行の専門医資格有効期限は「資格合格（更新）が承認された日～5年後」である。認定期限日は各専門医で異なることから、日本歯科専門医機構より「わかりやすく統一をお願いしたい」という要望を受けた。専門医だけではなく、認定医・指導医・認定歯科衛生士・研修施設、すべての認定資格について

春季合格者 現行の認定期限日を6/30まで延長する

秋季合格者 現行の認定期限日を12/31まで延長する

とする方針を確認し、昨日の理事会で協議を行った。この変更に伴う各資格者の認定有効期限が短縮されることはない。なお、現行の認定証は読み替え対応とする。

3) 共通研修制度改定対応

令和4（2022）年度より共通研修要項が改正された。主な変更点は下記枠内の通りである。未受講の場合、専門医資格を喪失する場合があるので、ご注意願いたい。

学会としては春季・秋季学術大会へ毎回参加すれば要件を満たせるようなプログラムを構築し、大会校、プログラム委員会、倫理委員会、医療安全委員会、認定医・専門医委員会が共同で学術大会プログラム編成を実施していく。

自身が現時点にて何単位取得済で、どうすれば基準を満たすのかを判断できるフローチャートを作成した。歯周病専門医新規申請・更新時の確認用としてご活用願いたい。

【改正点要約】

- 1) 共通研修区分が再編され、研修項目は5項目（①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全共通研修、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済）に変更となった。
- 2) 2022-2023年度に歯周病専門医資格を新規申請・更新を行う場合、①医療倫理、③医療安全共通研修、④院内感染対策の受講歴が各1単位以上かつ、共通研修単位を計6単位（2022年度申請）、8単位（2023年度申請）取得が義務付けられた。
- 3) 2024年度以降に歯周病専門医資格を新規申請・更新を行う場合、5項目（①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全共通研修、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済）の受講歴が各1単位以上かつ、5項目を含む共通研修単位を毎年度2単位、計10単位取得が義務付けられた。

日本歯科専門医機構「共通研修」確認用フローチャート(2022.4.1適用) 5/13更新

※基本は2020年度以降、下記「【重要】2024年度以降の共通研修受講について」に基づいた「共通研修」の受講が必要になります。以下のフローチャートは現在発表されている2022年度までの特例について、まとめたものです。予めご理解承りますようお願いいたします。



2022年度分まで要件を満たしております。
C.2023年度に新規申請・更新を行う方:2023年度までに①医療倫理、③医療安全、④院内感染対策を各1単位以上、かつ、共通研修単位を計8単位取得できるよう、不足分を受講してください。
D.2024年度以降に新規申請・更新を行う方:下記【重要】をご確認の上、受講準備を進めてください。
(C/D共通:申請時点で受講が叶わない場合、「受講予定」と記載して提出可能です。)

【重要】2024年度以降の共通研修受講について
2024年度以降に歯周病専門医の新規申請・更新をされる場合、必修5項目(①医療倫理、②患者・医療者関係の構築、③医療安全、④院内感染対策、⑤医療関連法規・医療経済)の各々1単位を含む合計10単位以上、かつ、毎年度2単位ずつの取得が必要となります。新規・更新申請書類提出時点で、必須5項目の受講を完了できるよう、準備を進めてください。

日本歯周病学会開催分「歯科専門医共通研修」の申請状況一覧(2022.5.13現在)

年度	演題	演者名	開催時期	研修区分	単位数
2023	倫理委員会企画講演	未定	第66回秋季:倫理委員会企画講演	申請予定 区分未定	1
	医療安全委員会企画講演	未定	第66回春季:医療安全委員会企画講演	申請予定 区分未定	1
	大会校企画講演	村上圭史	第66回春季:大会校企画講演	申請予定 ③医療安全	1
2022	人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針の内容と2022改正(仮題)	高島響子	第65回秋季:倫理委員会企画講演	申請予定 ⑤医療関連法規・医療経済	1
	サイレントパンデミック	大毛宏喜	第65回秋季:医療安全委員会企画講演	申請予定 ④院内感染対策	1
	患者安全の全体像と展望	長尾能雅	第65回春季:医療安全委員会企画講演	申請中 ③医療安全	1
2021	「医療の質と安全管理」を見つめ直すーノンテクニカルスキルからレジリエンスエンジニアリングまでー	河口浩之	オンデマンド開催(2022年1月20日～3月18日)	承認済Ⅰ ③医療安全 (旧・②医療安全)	1
	研究倫理申請	佐藤秀一	第64回秋季:倫理委員会企画講演	承認済Ⅰ ①医療倫理 (旧・①医療倫理)	1
	「これからの医療安全」に向けて、もう一歩踏み込む、もう一度見直す「ヒューマンエラー」「バイアス」「RCA(根本原因分析)」,そして「確認」	鮎澤純子	第64回春季:認定医・専門医教育講演	承認済Ⅰ ③医療安全 (旧・②医療安全)	1
	倫理申請する側と倫理審査する側に求められるもの	岸 光男	第64回春季:倫理委員会企画講演	承認済Ⅰ ①医療倫理 (旧・①医療倫理)	1
2020	日常臨床におけるデータ収集と管理の重要性	辰巳順一	第63回秋季:認定医・専門医教育講演	承認済Ⅰ ①医療倫理 (旧・①医療倫理)	1
	研究倫理・規制の最新動向と歯科医療に必要な留意点	栗原千絵子	第63回秋季:倫理委員会企画講演	承認済Ⅰ ①医療倫理 (旧・①医療倫理)	1

②各賞表記の整理について（小方理事長）

各賞の表記（英語名の有無、スポンサー社記載方法等）を

「日本歯周病学会○○賞（英語名称）。副賞：スポンサー社名 Award」

に統一することを常任理事会で確認を行い、ホームページの更新を行った。一部改正が発生する規約については会則委員会で検討の上、春季理事会で協議を行った。

1. 日本歯周病学会学会賞（JSP Distinguished Services Award）

本賞は、本学会活動に功労のあった学会員を表彰する目的で設けられたものです。その内容は、歯周病に関する多年の優れた研究、教育あるいは臨床業績により本学会の発展に寄与し、さらに本学会の役員として本学会の運営にも著しく貢献したことが条件であります。申請者の応募資格として継続して30年以上の会員歴が必要です。

なお、本賞は副賞としてサンスター株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(学会賞盾)のほかに、副賞 SUNSTAR Award (賞金20万円) が贈られます。

2. 日本歯周病学会学術賞（JSP Distinguished Scientist Award）

本賞は日本歯周病学会会員のうち、歯周病学において継続して優れた業績を上げた研究者の功績を讃えることを目的としています。応募資格は以下に該当することが必要です。

- 1 本学会で継続して10年以上学会員として活躍している者
- 2 歯周病学分野の第一線で活躍し、将来大きな発展が期待できる者で年齢は募集締切日に満55歳までの者
- 3 教授が応募する場合は、教授就任5年以内とする

なお、本賞は副賞としてライオン株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞（学術賞盾）のほかに、副賞 LION Award（賞金20万円）が贈られます。

3. 日本歯周病学会奨励賞（JSP Research Encouragement Award）

本賞は歯周病学の発展に寄与する学術論文を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。

表彰対象は、日本歯周病学会の学術大会で発表され、かつ過去2年間に本学会会誌、または他の学術誌に掲載された原著論文とします。

応募資格は以下に該当することが必要です。

1. 2年以上の会員歴を有すること
2. 35歳未満であること
3. 筆頭著者であること
4. 過去に本賞を受けたことがないこと

なお、本賞は副賞としてヒューフレディ株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(奨励賞盾)のほかに、副賞 Hu-Friedy Award (賞金3万円と同社製品)が贈られます。

4. 日本歯周病学会会誌賞（JSP Journal Award）

当該年の本会誌の1号(3月発行)から4号(12月号発行)までに掲載された総説、原著、臨床報告を表彰対象としております。

なお、本賞は副賞として株式会社モリタのスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞(表彰状)のほかに、副賞 MORITA Award (賞金5万円とトロフィー)が贈られます。

5. 日本歯周病学会教育賞（JSP Education Award）

本賞は歯周病学教育の発展に寄与した取組みを表彰することを目的としております。

表彰対象は、歯周病学の教育の発展に寄与した研究報告・総説や教育手法等の取組みです。

応募資格は、課題代表者が本学会の会員であること、過去に同一の課題で本賞または他学会における同様の趣旨の賞を受けたことがないことが条件です。

なお、本賞は副賞として医歯薬出版株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、副賞 Ishiyaku Award（賞金5万円）が贈られます。

6. 日本歯周病学会優秀臨床ポスター賞（JSP Excellent Clinical Poster Award）

本賞は日本歯周病学会学術大会臨床ポスターに発表された臨床症例の中から優れた発表を表彰し

ています。各学術大会において最優秀ポスター賞1題、優秀ポスター賞1題を選出しております。
なお、本賞は副賞としてクインテッセンス出版株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、最優秀賞受賞者には副賞 Quintessence Award（賞金5万円）が贈られます。

7. 日本歯周病学会ベストデンタルハイジニスト賞（JSP Best Dental Hygienist Award）

本賞は歯科衛生士が歯周病の予防および治療を通し、専門的知識と技術の向上を図り、国民の口腔保健の増進に寄与することを目的とし、本学会のそれぞれの学術大会において優れたポスター発表を行った歯科衛生士に対して賞を贈ることを目的としています。

なお、本賞は副賞としてタカラベルモント株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には表彰状のほかに、副賞 TAKARA BELMONT Award (賞金5万円とトロフィー)が贈られます。

8. 日本歯周病学会功労賞（JSP Distinguished Service Award）

本賞は日本歯周病学会の発展に多大な功労のあった法人(賛助会員)を表彰することを目的としております。受賞法人には本賞（功労賞盾）が贈られます。

9. Young Investigator Award

本賞は学術大会発表において優れた研究を発表した若手研究者を表彰することを目的としております。

表彰対象は、本学会当該年度の日本歯周病学会 Young Investigator Award に応募し、学術大会に発表された口頭発表とします。

応募資格は以下に該当することが必要です。

- 1 2年以上の会員歴を有すること
- 2 33歳未満であること
- 3 筆頭著者であること
- 4 過去に本賞の受賞歴がないこと
- 5 過去に日本歯周病学会奨励賞の受賞歴がないこと

なお、本賞は副賞としてサンスター株式会社のスポンサーシップを得ており、受賞者には本賞（Young Investigator Award盾）のほかに、副賞 SUNSTAR Award（賞金5万円と記念品）が贈られます。

10. 日本歯周病学会地域活動賞（JSP Regional Activity Award）

本賞は、歯周病の予防・治療を通して、地域住民の健康増進に寄与した優れた活動業績を上げられた団体を表彰することを目的としております。

受賞団体には表彰状が贈られます。

③認定医・専門医申請における医薬品・医療機器等に関する考え方の整備について（山本理事）

6月4日（土）15時からの認定医・専門医教育講演冒頭、10分程度本件説明を実施する。
本年度は周知期間として、本格実施は令和5（2023）年度からとする。

「認定医専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」（薬機使用の考え方）

歯周治療の進歩や多様化に伴い、日本歯周病学会の認定医・専門医申請および学術大会臨床ポスター発表に際して、様々な治療法が用いられた症例が提示されるようになりました。その中には、日本歯周病学会の倫理規定との整合性等との関係から、同治療の妥当性を本学会の委員会等において判断することが困難なケースが散見されるようになっていきます。本文書では、日本歯周病学会の認定医・専門医申請症例を以下の①～③のケースに区別して整理し、医薬品・医療機器等の使用に関する考え方を下記のように再定義いたします。この再定義を基に、今後の本学会における症例申請や症例発表をご準備頂くよう、お願いいたします。

I. 申請症例の内容：

- ① 国内承認された医薬品・医療機器等を、その適応および添付文書記載の方法に準じて用いている。
その使用にあたって患者のインフォームドコンセントが取得されていることを前提に用いている。
- ② 国内承認された医薬品・医療機器等を、歯科医師の裁量権の下、患者のインフォームドコンセントが書面をもって取得されていることを前提に、添付文書に記載されていない方法で用いている。
例）国内承認済みの複数の医薬品・医療機器の併用や、歯科領域での適応はないがその他の適応で国内承認された医薬品・医療機器等を歯周治療に応用した等
- ③ 国内未承認の医薬品・医療機器等を、我が国で定められた法規等の必要な手続きを行っていること、その使用にあたって患者のインフォームドコンセントが書面をもって取得されていること、を前提に用いている。

II. 認定医・専門医・指導医申請症例について

1. 認定医の申請症例は、原則として標準的治療法（上記①）で行う。ただし、特別な理由があれば、その理由を付記し、併用療法等（上記②）の必要性や妥当性の根拠を示すことで、その症例を可とする。
2. 専門医の申請症例は、標準的治療法（上記①）に加え、併用療法等（上記②）の必要性や妥当性の根拠を示すことで、その症例を可とする。国内未承認や歯科領域での適応が取られていない医薬品・医療機器等については、その使用根拠の説明を厳密に求める（上記③）。
3. 難症例や重症例を申請する際に、国内未承認の医薬品・医療機器等を使用せざるを得ないと主治医が判断した場合（上記③）は、その必要性や妥当性の根拠を示すことに加え、法律などの規則を遵守した実施であることを明確に示す必要がある。
例）欧米で販売されている医薬品・材料を個人輸入した場合の厚生労働省輸入確認書（旧制度の薬監証明）の発給番号等を記載する。
4. ただし、③に該当する場合においても、ヒト由来医薬品・医療機器等（具体的には、DFDBA、FDBA、アローダム等）を用いたものは、申請用症例としては認めない。
5. 国内未承認の医薬品・医療機器等を用いた症例でも、それらが国内承認された後では承認前に施行されていても申請に用いることができる。
例）ガイストリッヒバイオオス、0.3%リグロス
6. 臨床研究の被験症例（Institutional Review Board（臨床試験審査委員会；IRB）等の承認を得たもの）を申請に用いることを否定しない。ただし、認定医・専門医の技量を判断する上で妥当であるかどうかは、個々に判断される。
例）臨床研究として実施された試験的歯周外科のみが行われている症例を外科症例とすることは不適と判断される。ただし、同患者に上記①あるいは②の治療が他部位において実施されている場合には、外科症例として是と判断される。
7. いずれの場合も、患者の同意を得た上での安全な医療の実施であることを明確にし、申請や公表については個人情報保護と患者の権利確保を厳守しなければならない。患者からのインフォームドコンセントを書面で取得した上で実施したものであること。
8. 再生医療等安全性確保法等に関わる治療法を含む場合は、専門医申請症例として技量を評価する症例として妥当か、委員会が判断する。

2022（令和4）年6月2日
専門医委員会・認定医委員会・歯科衛生士関連委員会

日本歯周病学会学術大会・臨床ポスター応募症例チェックリスト
(臨床ポスターチェックリスト)

学術大会臨床（認定医・専門医）ポスター、歯科衛生士症例ポスター（以下、臨床ポスター）で発表できるのは、歯周治療に関する症例報告です。「認定医専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」に照らして発表のご準備をお願いいたします。（ご自身の症例が下の質問群に当てはまらない場合は、事務局までお問い合わせください。）

Q1. あなたの発表内容は症例報告※ですか？

☐ はい → Q2へ

☐ いいえ → 疫学研究や臨床研究#の場合は、一般演題に応募して下さい。

※ 症例報告とは、一例から数例の治療経過や良好な結果をまとめて報告したもので、診療の有効性・安全性を評価するなど研究的要素を含まないもの。

症例集積、ケースシリーズ、通常の診療を越えた医療行為で研究目的のもの、通常の診療を越えない医療でも群間比較等研究や調査を意図したもの。

Q2. 「厚労省未承認薬・材料・医療機器の使用」「適応外使用」に該当しますか？

☐ はい → Q3へ

☐ いいえ → Q5へ

Q3. 「認定医専門医申請における医薬品・機器の使用に関する考え方」の申請症例I②またはI③に当てはまりますか？

☐ I②に該当 → Q7へ

☐ I③に該当 → Q4へ

Q4. 以下のいずれに該当しますか？

☐ I③かつII 4に該当 → 臨床ポスターでは発表を許可しません。

☐ I ③かつII 5に該当 → Q7へ

☐ I③かつII 6に該当 → Q7へ（ただし、臨床研究に該当しないか個々に再審査をします）

Q5. 再生医療等製品を使用した症例ですか？

☐ はい → Q6へ

☐ いいえ → Q7へ（I①に該当すると思われます）

Q6. 再生医療等安全性確保法・医薬品医療機器等法等の関係法規を遵守し実施しましたか？

☐ はい → Q7へ

☐ いいえ → 臨床ポスターでは発表できません。

Q7. 「手術の同意」を書面でインフォームドコンセントを得ていますか？

☐ はい → 公表可能^b（公表予定のポスターは事前にチェックを受けます。）

☐ いいえ → 臨床ポスターでは発表を許可しません。

b 以下の点に留意下さい。

・個人情報保護法を遵守していること。

・日本国以外で医療の実施された場合、その国・地域の法規を遵守していること。

発表演題名：_____

筆頭発表者名（自署）：_____

申請日：（西暦）_____年____月____日

2022（令和4）年6月2日
専門医委員会・認定医委員会・歯科衛生士関連委員会

④「歯周病の新分類」の本格実施について（村上前理事長）

2019年12月に下記を発出してから2年経過した。暫間的な対応として、これまでの分類に新分類を併記して用いることを決定したが、この対応をしばらくの間、継続することを2月21日発出した。

歯周病の新分類への対応

2018年6月に、アメリカ歯周病学会（AAP）・ヨーロッパ歯周病連盟（EFP）より公表されました歯周病の新分類に対する日本歯周病学会の対応を、以下の通り、お知らせいたします。

2017年11月、AAP・EFP共催ワークショップ「World Workshop on the Classification of Periodontal and Peri-Implant Diseases and Conditions」が米国シカゴで開催され、歯周病の新分類策定についての議論がなされました。このワークショップでは世界各国から100名を超す歯周病学分野・インプラント学分野の専門家が一堂に会し、前回の1999年に開催されたワークショップ以降に蓄積された歯周病学・インプラント学に関する科学的エビデンスを吟味し、新しい分類作成についての議論がなされました。後日、その議論の結果はコンセンサスレポートとしてまとめられ、2018年6月、アムステルダムで開催されたEuroPerio9の会期中に公表されました。これら一連の議論に用いられた総説および成果として取りまとめられたコンセンサスレポートはJournal of PeriodontologyおよびJournal of Clinical Periodontologyの誌上ならびに、AAP・EFPのウェブサイトにおいても閲覧可能です。また、これらの正式文書の翻訳作業を日本臨床歯周病学会と合同で進め、2020年10月に出版いたしました。
~~これらの正式文書の翻訳作業が、日本臨床歯周病学会との合同で進められており、本年度内の出版を目指して作業が進められております。~~

今回の新分類で、最も大きな変化が示されたのは歯周炎の分類です。1999年に定められた分類では、歯周炎を侵襲性歯周炎と慢性歯周炎に大きく2つに分けていましたが、新分類では、これらを1つの歯周炎としてとりまとめた上で、ステージとグレードという、診断のフレームワークが導入されました。具体的には、歯周炎の重症度・複雑度が4つのステージ（ステージ1が最も軽症、ステージ4が最も重症）に、歯周炎の進行リスクが3つのグレード（グレードAが最も低いリスク、グレードCが最も高いリスク）に分けられ、グレードの決定に関しては喫煙や糖尿病といったリスクファクターが勘案されることとなりました。

ここでは、ステージとグレードの分類表の日本語訳（日本歯周病学会認定）を提示させていただきますので、ご活用下さい。また、この日本語訳を何らかの目的で活用される際には、こちらのサイトを引用していただきますよう、お願いいたします。

なお、日本歯周病学会は、これまで長年蓄積されてきた臨床上および研究上の貴重な資産を途切れることなく継続的に活用できることを念頭に置き、~~暫間的な対応として、~~これまでの分類に新分類を併記して用いる暫間的な対応ことを、決定いたしましたしばらく継続いたします。即ち、先ず、「限局型か広汎型か」、次にこれまで分類法である「慢性歯周炎か侵襲性歯周炎か」を記し、その次にステージ、最後にグレードを記載していただくことといたします。具体的には

広汎型	慢性歯周炎	ステージIII	グレードB
限局型	侵襲性歯周炎	ステージIV	グレードC

のように記載していただくことになります。

また、認定医、専門医、指導医、ならびに認定歯科衛生士の申請については、令和2（2020）年度を移行期間（これまでの分類でも、上記の分類でも可）とし、令和3（2021）年度よりから、本格実施するものとしたを開始しました。

今後、新分類の定着状況や科学的エビデンスの集積状況等を勘案し、診療、教育、研究の現場で混乱が発生することが無いように十分な配慮を行い、新分類への移行を図りたいと思います。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和元（2019）年12月20日
特定非営利活動法人 日本歯周病学会
理事長 村上 伸也
令和4（2022）年2月21日
特定非営利活動法人 日本歯周病学会
理事長 小方 頼昌

歯周炎のステージ		ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV
重症度	歯間部の最も大きなCAL	1-2mm	3-4mm	≥5mm	≥5mm
	エックス線画像上の骨吸収	歯根長1/3未満 (<15%)	歯根長1/3未満 (15-33%)	歯根長1/3を超える	歯根長1/3を超える
	歯の喪失	歯周炎による喪失なし		歯周炎により4本以内の喪失	歯周炎により5本以上の喪失
複雑度	局所	最大プロービングデプス4mm以内 主に水平性骨吸収	最大プロービングデプス5mm以内 主に水平性骨吸収	ステージIIに加えて： プロービングデプス6mm以上 3mm以上の垂直性骨吸収 根分岐病変2-3度 中程度の歯槽堤の欠損	ステージIIIに加えて： 複雑な口腔機能回復治療を要する以下の状態 咀嚼機能障害 二次性咬合性外傷（動揺度2度以上） 重度の歯槽堤欠損 咬合崩壊・歯の移動・フレアアウト 歯数20本（10対合歯）未満
範囲と分布	ステージに記述を加える	それぞれのステージにおいて拡がりを、限局型（罹患歯が0%未満）、広汎型（同30%以上）、または大白歯切歯パターンかを記載する			

ver.20220208

CAL: クリニカルアタッチメントロス

歯周炎のグレード			グレードA 遅い進行	グレードB 中程度の進行	グレードC 急速な進行
主な基準	進行の直接証拠	骨吸収もしくはCALの経年変化	5年以上なし	5年で2mm未満	5年で2mm以上
		骨吸収%/年齢	<0.25	0.25-1.0	>1.0
	進行の間接証拠	症例の表現型	バイオフィーム蓄積は多いものの、組織破壊は少ない	バイオフィーム蓄積に見合った組織破壊	バイオフィームの蓄積程度以上に組織破壊；急速な進行and/or早期発症を示唆する臨床徴候（例：大白歯切歯パターン、標準的な原因除去療法に反応しない）
グレードの修飾因子	リスクファクター	喫煙	非喫煙者	喫煙者 1日10本未満	喫煙者 1日10本以上
		糖尿病	血糖値正常 糖尿病の診断なし	HbA1c7.0%未満の糖尿病患者	HbA1c7.0%以上の糖尿病患者

ver.20220208

CAL: クリニカルアタッチメントロス

⑤国民への歯周病啓発活動について（小方理事長）

国民に対する歯周病啓発活動として下記プロモーション活動を実施した。1・2について春季学術大会ポスター会に特設ブースを設置しているので、現地参加者におかれてはお立ちより願いたい。

1. 国民向け新ホームページの作成

理事各位にコンテンツ原稿の作成をお願いした。現在、頂いた原稿が厚生労働省「医業若しくは歯科医業又は病院若しくは診療所に関する広告等に関する指針（医療広告ガイドライン）」に沿った内容か、無断転載されていないかなどのチェックを行っている。

ホームページのタイトルは「PerioBook」とした。

フレーム作成や認定資格者のリスト整備を行い7月末に公開できるように準備を進めている。

2. 国民向け歯周病関連の啓発動画作成

コロナ禍により、国民がオンラインで接触する時間が増えたことを受け、日本臨床歯周病学会と共同で、国民に向けた歯周病啓発のためのPR動画「にゃんかむちゅー」を作成し、4月18日に公開した。

本動画の作製目的は、歯を失う原因の1位は歯周病であること、45歳以上の50%以上が歯周病であるとともに、15～24歳でも約20%が歯周病に罹っていることを踏まえ、自分が歯周病になるわけがないと思っている若者に、歯周病の怖さ、予防と治療の必要性、歯科受診の重要性を周知することである。

今回の学術大会ポスター会場に特設ブースを設置し、放映を行っている。お時間のある際に視聴していただきますようお願いいたします。



にゃんかむちゅー
公式 YouTube
チャンネル

【「にゃんかむちゅー」概要】

全6本で構成で1本あたり2分程度。日本臨床歯周病学会と共同で作成

イラスト担当：「カナヘイさん」（イラストレーター・漫画家）

声担当：花江夏樹氏（声優：「鬼滅の刃」竈門炭治郎役など）

会員がブログやホームページ等に本動画をリンクすること、アニメのスクリーンショットを掲載することは問題ない。

→この動画を利用して、国民への歯周病啓発や患者様への説明等、幅広く使用して頂ければと思います。



【にゃんかむちゅー】#1 か
わいい、って言われちゃった

31万 回視聴・3 週間前

【にゃんかむちゅー】#2 食
べちゃいたいくらい大すき

10万 回視聴・3 週間前

【にゃんかむちゅー】#3 い
ままで全部ウソだったの？

1.6万 回視聴・3 週間前



【にゃんかむちゅー】#4 ふ
たりだけのおともだちなんだ

1.1万 回視聴・3 週間前



【にゃんかむちゅー】#5 運
命ってなに？運命なんて変...

9765 回視聴・3 週間前



【にゃんかむちゅー】#6 ず
っと大事でそばにいて

8910 回視聴・3 週間前

3) 協議事項

(1) 令和3（2021）年度決算報告ならびに監査報告（申理事・中山幹事、伊藤・永田両監事）

決 算 報 告 書

（第20期）

自 令 和 3 年 4 月 1 日
至 令 和 4 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人 日本歯周病学会
東京都豊島区駒込1丁目43番9号

令和3年度 活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科 目	特定非営利活動に 係る事業	その他の事業	合計
I 経常収益			
1 受取会費	130,629,750	0	130,629,750
受取会費	128,679,750	0	128,679,750
法人会費収入	1,950,000	0	1,950,000
2 事業収益	26,854,816	437,210	27,292,026
論文掲載料	711,700	0	711,700
著作権使用料	0	437,210	437,210
専門医認定事業収益	8,324,416	0	8,324,416
認定医認定事業収益	11,482,900	0	11,482,900
認定歯科衛生士事業収益	6,335,800	0	6,335,800
3 受取助成金等	2,631,000	0	2,631,000
日本歯科医学会助成金	2,574,000	0	2,574,000
研究助成協賛金	57,000	0	57,000
4 受取寄付金	1,950,000	0	1,950,000
学会賞寄付金	1,950,000	0	1,950,000
5 雑収益	37,911	0	37,911
受取利息	411	0	411
その他の雑収入	37,500	0	37,500
経常収益計	162,103,477	437,210	162,540,687
II 経常費用			
1 事業費			0
(1) その他経費	107,393,019	99,564	107,492,583
学術大会事業費	11,288,408		11,288,408
臨床研修会	0		0
市民公開講座事業費	200,000		200,000
倫理研修会事業費	799,750		799,750
機関誌刊行事業費	19,970,263		19,970,263
学会表彰事業費	2,434,080		2,434,080
広報活動事業費	9,747,194		9,747,194
関係団体協力運営事業費	1,446,240		1,446,240
専門医認定事業費	12,149,934		12,149,934
認定医認定事業費	5,789,819		5,789,819
認定歯科衛生士事業費	4,807,862		4,807,862
AAP-JSP大会事業費	265,895		265,895
国際交流事業費	510,163		510,163
出版事業費	0		0
研究助成事業費	2,246,625		2,246,625
大会関係事業費	2,000,770		2,000,770
会議費	10,207,118	30,597	10,237,715
送料・通信費	1,650,275	4,947	1,655,222
事務用品・印刷費	3,099,617	9,292	3,108,909
事務委託費	17,016,687	51,011	17,067,698
手数料	105,918	318	106,236
減価償却費	396,000	0	396,000
租税公課	1,260,401	3,399	1,263,800
2 管理費			
(1) その他経費	7,557,885	0	7,557,885
会議費	1,137,524	0	1,137,524
送料・通信費	183,914	0	183,914
事務用品・印刷費	345,434	0	345,434
事務委託費	1,896,411	0	1,896,411
日本歯科医学会分担金	3,980,400	0	3,980,400
手数料	11,804	0	11,804
慶弔費	2,398	0	2,398
経常費用計	114,950,904	99,564	115,050,468
当期経常増減額	47,152,573	337,646	47,490,219
経常外収益			0
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
経常外費用			0
	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
経理区分振替額	197,246	△ 197,246	0
税引前当期正味財産増減額	47,349,819	140,400	47,490,219
法人税、住民税及び事業税	0	140,400	140,400
前期繰越正味財産額	192,300,687	0	192,300,687
次期繰越正味財産額	239,650,506	0	239,650,506

貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科 目		金 額		
1	I 資産の部			
2	1 流動資産			
3	現金預金	230,665,535		
4	前払費用	0		
5	AAP-JSP大会事業積立金	20,110,701		
6	国際交流事業積立金	6,232,045		
7	研究助成事業積立金	25,393,503		
8	出版事業積立金	18,099,636		
9	大会関係事業積立金	19,945,488		
10	流動資産合計		320,446,908	
11	2 固定資産			
12	(1)有形固定資産			
13	什器備品	792,000		
14	固定資産合計		792,000	
15	資産合計			321,238,908
16	II 負債の部			
17	1 流動負債			
18	前受金	1,470,440		
19	未払法人税等	140,400		
20	流動負債合計		1,610,840	
21	2 固定負債			
22	長期前受金	87,000		
23	固定負債合計		87,000	
24	負債合計			1,697,840
25	III 正味財産の部			
26	前期繰越正味財産		272,191,249	
27	当期正味財産増減額		47,349,819	
28	正味財産合計			319,541,068
29	負債及び正味財産合計			321,238,908

令和3年度 財務諸表の注記

重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会)によっている。

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

事業別損益の状況

(単位:円)

	科目	学術大会開催 事業	臨床研修会開 催事業	市民公開講座 等活動事業	機関紙発行事 業	広報活動事業
1	I 経常収益					
2	1 受取会費	26,125,950	13,062,975	13,062,975	26,125,950	19,594,463
3	2 事業収益	0	0	0	0	0
4	3 受取助成金等	2,574,000	57,000	0	0	0
5	4 受取寄付金	1,950,000	0	0	0	0
6	5 雑収益	10,088	182	0	83	0
7	経常収益計	30,660,038	13,120,157	13,062,975	26,126,033	19,594,463
8	II 経常費用					
9	(1) その他経費					
10	学術大会事業費	11,288,408	0	0	0	0
11	臨床研修会	0	0	0	0	0
12	市民公開講座事業費	0	0	200,000	0	0
13	倫理研修会事業費	0	799,750	0	0	0
14	機関紙刊行事業費	0	0	0	19,970,263	0
15	学会表彰事業費	2,434,080	0	0	0	0
16	広報活動事業費	0	0	0	0	9,747,194
17	関係団体協力運営事業費	0	0	0	0	0
18	専門医認定事業費	0	0	0	0	0
19	認定医認定事業費	0	0	0	0	0
20	認定歯科衛生士事業費	0	0	0	0	0
21	AAP-JSP大会事業費	265,895	0	0	0	0
22	国際交流事業費	0	0	0	0	0
23	研究助成事業費	0	2,246,625	0	0	0
24	出版事業費	0	0	0	0	0
25	大会関係事業費	2,000,770	0	0	0	0
26	会議費	1,441,448	1,441,445	1,441,445	1,441,445	1,441,445
27	送料・通信費	133,154	133,153	133,153	133,153	133,153
28	事務用品・印刷費	374,941	374,936	374,936	374,936	374,936
29	事務委託費	1,803,015	1,803,012	1,803,012	1,803,012	1,803,012
	手数料	12,979	12,975	12,975	12,975	12,975
30	減価償却費	0	0	0	0	0
31	慶弔費	0	0	0	0	0
32	租税公課	0	0	0	0	0
33	その他経費計	19,754,690	6,811,896	3,965,521	23,735,784	13,512,715
34	経常費用計	19,754,690	6,811,896	3,965,521	23,735,784	13,512,715
35	当期経常増減額	10,905,348	6,308,261	9,097,454	2,390,249	6,081,748

	科目	交流事業	認定医及び専門医認定事業	認定歯科衛生士認定事業	論文掲載事業	広告掲載及び著作権使用料事業
36	I 経常収益					
37	1 受取会費	13,062,975	0	0	6,531,487	0
38	2 事業収益	0	19,807,316	6,335,800	711,700	437,210
39	3 受取助成金等	0	0	0	0	0
40	4 受取寄付金	0	0	0	0	0
41	5 雑収益	46	24,200	3,312	0	0
42	経常収益計	13,063,021	19,831,516	6,339,112	7,243,187	437,210
43	II 経常費用					
44	(1) その他経費					
45	学術大会事業費	0	0	0	0	0
46	臨床研修会	0	0	0	0	0
47	GTR等普及事業費	0	0	0	0	0
48	市民公開講座事業費	0	0	0	0	0
49	倫理研修会事業費	0	0	0	0	0
50	機関紙刊行事業費	0	0	0	0	0
51	学会表彰事業費	0	0	0	0	0
52	広報活動事業費	0	0	0	0	0
53	関係団体協力運営事業費	1,446,240	0	0	0	0
54	専門医認定事業費	0	12,149,934	0	0	0
55	認定医認定事業費	0	5,789,819	0	0	0
56	認定歯科衛生士事業費	0	0	4,807,862	0	0
57	AAP-JSP大会事業費	0	0	0	0	0
58	国際交流事業費	510,163	0	0	0	0
59	研究助成事業費	0	0	0	0	0
60	出版事業費	0	0	0	0	0
61	大会関係事業費	0	0	0	0	0
62	会議費	1,441,445	0	117,000	1,441,445	30,597
63	送料・通信費	133,153	523,144	195,059	133,153	4,947
64	事務用品・印刷費	374,936	306,915	168,145	374,936	9,292
65	事務委託費	1,803,012	2,904,000	1,491,600	1,803,012	51,011
66	手数料	12,975	6,791	8,298	12,975	318
67	減価償却費	0	264,000	132,000	0	0
68	慶弔費	0	0	0	0	0
69	租税公課	0	840,267	420,134	0	3,399
70	その他経費計	5,721,924	22,784,870	7,340,098	3,765,521	99,564
71	経常費用計	5,721,924	22,784,870	7,340,098	3,765,521	99,564
72	当期経常増減額	7,341,097	△ 2,953,354	△ 1,000,986	3,477,666	337,646

	科目	事業部門計	管理部門	合計
73	I 経常収益			
74	1 受取会費	117,566,775	13,062,975	130,629,750
75	2 事業収益	27,292,026	0	27,292,026
76	3 受取助成金等	2,631,000	0	2,631,000
77	4 受取寄付金	1,950,000	0	1,950,000
78	5 雑収益	37,911	0	37,911
79	経常収益計	149,477,712	13,062,975	162,540,687
80	II 経常費用			
81	(1) その他経費			
82	学術大会事業費	11,288,408	0	11,288,408
83	臨床研修会	0	0	0
84	市民公開講座事業費	200,000	0	200,000
85	倫理研修会事業費	799,750	0	799,750
86	機関誌刊行事業費	19,970,263	0	19,970,263
87	学会表彰事業費	2,434,080	0	2,434,080
88	広報活動事業費	9,747,194	0	9,747,194
89	関係団体協力運営事業費	1,446,240	0	1,446,240
90	専門医認定事業費	12,149,934	0	12,149,934
91	認定医認定事業費	5,789,819	0	5,789,819
92	認定歯科衛生士事業費	4,807,862	0	4,807,862
93	AAP-JSP大会事業費	265,895	0	265,895
94	国際交流事業費	510,163	0	510,163
95	研究助成事業費	2,246,625	0	2,246,625
96	出版事業費	0	0	0
97	大会関係事業費	2,000,770	0	2,000,770
98	会議費	10,237,715	1,137,524	11,375,239
99	送料・通信費	1,655,222	183,914	1,839,136
100	事務用品・印刷費	3,108,909	345,434	3,454,343
101	事務委託費	17,067,698	1,896,411	18,964,109
102	日本歯科医学会分担金	0	3,980,400	3,980,400
103	手数料	106,236	11,804	118,040
104	減価償却費	396,000	0	396,000
105	慶弔費	0	2,398	2,398
106	租税公課	1,263,800	0	1,263,800
107	その他経費計	107,492,583	7,557,885	115,050,468
108	経常費用計	107,492,583	7,557,885	115,050,468
109	当期経常増減額	41,985,129	5,505,090	47,490,219

財 産 目 録

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科目		金額	
1	I 資産の部		
2	1 流動資産		
3	現金預金	230,665,535	
4	手許現金	0	
5	普通預金	230,029,017	
6	三菱UFJ銀行駒込支店 #0564837	1,792,754	
7	三菱UFJ銀行駒込支店 #4640401	194,193,052	
8	三菱UFJ銀行駒込支店 #0373592	7,231,903	
9	三菱UFJ銀行駒込支店 #0006098	25,666,018	
10	三菱UFJ銀行駒込支店 #1315961	1,145,290	
11	郵便振替	636,518	
12	ゆうちょ銀行 #00140-4-419579	254,464	
13	ゆうちょ銀行 #00190-8-721946	382,054	
14	AAP-JSP大会事業積立金	20,110,701	
15	普通預金	20,110,701	
16	三菱UFJ銀行駒込支店 #0919474	20,110,701	
17	国際交流事業積立金	6,232,045	
18	普通預金	6,232,045	
19	三菱UFJ銀行駒込支店 #1315945	6,232,045	
20	研究助成事業積立金	25,393,503	
21	普通預金	23,082,039	
22	三菱UFJ銀行駒込支店 #1315974	23,082,039	
23	郵便振替	2,311,464	
24	ゆうちょ銀行 #00160-7-418133	2,311,464	
25	出版事業積立金	18,099,636	
26	普通預金	18,099,636	
27	三菱UFJ銀行駒込支店 #0031348	18,099,636	
28	大会関係事業積立金	19,945,488	
29	普通預金	19,945,488	
30	三菱UFJ銀行駒込支店 #1148317	19,945,488	
31	定期預金	0	
32	三菱UFJ銀行駒込支店 #0037491	0	
33	流動資産合計	320,446,908	
34	2 固定資産		
35	(1) 有形固定資産		
36	什器備品	792,000	
37	専門医認定事業PC3台	264,000	
38	認定医認定事業PC3台	264,000	
39	認定歯科衛生士事業PC3台	264,000	
40	固定資産合計	792,000	
41	資産合計		321,238,908
42	II 負債の部		
43	1 流動負債		
44	前受金	1,470,440	
45	令和4年度年会費	1,470,440	
46	未払法人税等	140,400	
47	令和3年度確定法人税、住民税及び事業税	140,400	
48	流動負債合計	1,610,840	
49			
50	2 固定負債		
51	長期前受金	87,000	
52	令和5年度年会費	51,000	
53	令和6年度年会費	24,000	
54	令和7年度年会費	12,000	
55			
56	固定負債合計	87,000	
57	負債合計		1,697,840
58	正味財産		319,541,068

収支計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考	執行率
I 事業活動収支の部					
事業活動収入					
会費収入	125,900,000	130,629,750	△ 4,729,750		103.8%
会費収入	123,950,000	128,679,750	△ 4,729,750		103.8%
法人会費収入	1,950,000	1,950,000	0		100.0%
事業収入	26,409,000	27,292,026	△ 883,026		103.3%
論文掲載料収入	500,000	711,700	△ 211,700		142.3%
著作権使用料収入	400,000	437,210	△ 37,210		109.3%
専門医認定事業収入	7,865,000	8,324,416	△ 459,416		105.8%
認定医認定事業収入	11,583,000	11,482,900	100,100		99.1%
認定歯科衛生士事業収入	6,061,000	6,335,800	△ 274,800		104.5%
補助金等収入	2,376,000	2,631,000	△ 255,000		110.7%
日本歯科医学学会助成金	2,376,000	2,574,000	△ 198,000		108.3%
研究助成協賛金収入	0	57,000	△ 57,000	#DIV/0!	
寄付金収入	1,950,000	1,950,000	0		100.0%
学会賞寄付金収入	1,950,000	1,950,000	0		100.0%
雑収入	32,500	37,911	△ 5,411		116.6%
利息収入	0	411	△ 411	#DIV/0!	
その他の雑収入	32,500	37,500	△ 5,000		115.4%
事業活動収入計	156,667,500	162,540,687	△ 5,873,187		103.7%
事業活動支出					
事業費支出	94,170,000	73,657,003	20,512,997		78.2%
学術大会事業費	20,700,000	11,288,408	9,411,592		54.5%
臨床研修会	3,000,000	0	3,000,000		0.0%
市民公開講座事業費	500,000	200,000	300,000		40.0%
倫理研修会事業費	300,000	799,750	△ 499,750		266.6%
機関誌刊行事業費	22,670,000	19,970,263	2,699,737		88.1%
学会表彰事業費	2,780,000	2,434,080	345,920		87.6%
広報活動事業費	3,900,000	9,747,194	△ 5,847,194		249.9%
関係団体協力運営事業費	1,300,000	1,446,240	△ 146,240		111.2%
専門医認定事業費支出	8,970,000	12,149,934	△ 3,179,934		135.5%
認定医認定事業費支出	4,810,000	5,789,819	△ 979,819		120.4%
認定歯科衛生士事業費支出	4,270,000	4,807,862	△ 537,862		112.6%
AAP-JSP大会事業費支出	1,000,000	265,895	734,105		26.6%
国際交流事業費支出	2,370,000	510,163	1,859,837		21.5%
研究助成事業費支出	4,500,000	2,246,625	2,253,375		49.9%
出版事業費支出	11,100,000	0	11,100,000		0.0%
大会関係事業費支出	2,000,000	2,000,770	△ 770		100.0%
管理費支出	54,857,000	42,325,865	12,531,135		77.2%
会議費支出	23,640,000	11,375,239	12,264,761		48.1%
送料・通信費支出	2,100,000	1,839,136	260,864		87.6%
事務用品・印刷費支出	4,160,000	3,454,343	705,657		83.0%
事務委託費支出	19,294,000	18,964,109	329,891		98.3%
日本歯科医学学会分担金支出	3,660,000	3,980,400	△ 320,400		108.8%
手数料支出	220,000	118,040	101,960		53.7%
慶弔費支出	200,000	2,398	197,602		1.2%
租税公課支出	500,000	1,404,200	△ 904,200		280.8%
雑費支出	1,083,000	1,188,000	△ 105,000		109.7%
事業活動支出計	149,027,000	115,982,868	33,044,132		77.8%
事業活動収支差額	7,640,500	46,557,819	△ 38,917,319		609.4%
II 投資活動収支の部					
投資活動収入					
積立金取崩収入	15,000,000	15,000,000	0		100.0%
AAP-JSP大会積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
国際交流積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
研究助成積立金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0		100.0%
出版事業積立金取崩収入	9,000,000	9,000,000	0		100.0%
大会関係事業積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動収入計	15,000,000	15,000,000	0		100.0%
投資活動支出					
積立金繰入支出	15,000,000	15,000,000	0		100.0%
AAP-JSP大会積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
国際交流積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
研究助成積立金繰入支出	3,000,000	3,000,000	0		100.0%
出版事業積立金繰入支出	9,000,000	9,000,000	0		100.0%
大会関係事業積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0		100.0%
投資活動支出計	15,000,000	15,000,000	0		100.0%
投資活動収支差額	0	0	0		
III 予備費支出	1,912,000		1,912,000		0.0%
当期収支差額	5,728,500	46,557,819	△ 40,829,319		812.7%
前期繰越収支差額	273,212,099	272,191,249	1,020,850		99.6%
次期繰越収支差額	278,940,599	318,749,068	△ 39,808,469		114.3%

収支計算書に対する注記

1 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、APP-JSP大会事業積立金、国際交流事業積立金、研究助成事業積立金、出版事業積立金、大会関係事業積立金、プロジェクト研究積立金、前受金、未払法人税等及び長期前受金を含めている。

なお、次期繰越収支差額の内訳は2.に示すとおりである。

2 予備費の流用について

予備費のうち213円は研究助成基金残高発行手数料に流用し、手数料支出に含めている。

3 次期繰越収支差額の内訳

科 目	前年度残高	当年度残高
現金預金	193,464,459	230,665,535
前払費用	300,000	0
AAP-JSP大会事業積立金	19,376,596	20,110,701
国際交流事業積立金	5,742,162	6,232,045
研究助成事業積立金	24,583,159	25,393,503
出版事業積立金	9,099,553	18,099,636
大会関係事業積立金	20,946,170	19,945,488
合 計	273,512,099	320,446,908
前受金	715,450	1,470,440
未払法人税等	150,400	140,400
長期前受金	455,000	87,000
合 計	1,320,850	1,697,840
次期繰越収支差額	272,191,249	318,749,068

収益事業決算報告書

(第20期)

自 令和3年4月1日
至 令和4年3月31日

特定非営利活動法人 日本歯周病学会
東京都豊島区駒込1丁目43番9号

収益事業活動計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科 目	決算額
I 経常収益	
1 事業収入	437,210
著作権使用料収入	437,210
経常収益計	437,210
II 経常費用	
1 事業費	
会議費	30,597
送料・通信費	4,947
事務用品・印刷費	9,292
事務委託費	51,011
手数料	318
慶弔費	0
租税公課	3,399
経常費用計	99,564
非収益事業への振替額	197,246
税引前当期正味財産増減額	140,400
法人税、住民税及び事業税	140,400
当期正味財産増減額	0

収益事業貸借対照表

令和4年3月31日現在

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	140,400		
流動資産合計		140,400	
2 固定資産			
固定資産合計		0	
資産合計			140,400
II 負債の部			
1 流動負債			
未払法人税等	140,400		
流動負債合計		140,400	
2 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			140,400
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		0	
正味財産合計			0
負債及び正味財産合計			140,400

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

令和3（2021）年度 会務・会計監査報告書

特定非営利活動法人日本歯周病学会

令和3（2021）年度

理事長 小方 頼昌 殿

会計担当理事 申 基喆 殿

特定非営利活動法人日本歯周病学会の令和3（2021）年度会務・および会計各項について 監査を行った結果、誤りの無いものと認め、これを承認し関係書類に署名捺印しました。

令和 4 年 4 月 25 日

監事

伊藤 公一



令和 4 年 4 月 30 日

監事

永田 俊彦



(2) 令和4（2022）年度事業計画（小方理事長）

令和4（2022）年度事業計画（案）

1. 令和4（2022）年度会議
執行役員会：4回、常任理事会：4回、理事会：2回、評議員会・総会：2回
2. 学術大会の開催
第65回春季日本歯周病学会学術大会
日 時：令和4（2022）年6月3日（金）、6月4日（土）
大会長：佐藤 秀一
場 所：東京都（京王プラザホテル） ※現地開催終了後、オンデマンド方式で開催
第65回秋季日本歯周病学会学術大会
日 時：令和4（2022）年9月2日（金）、9月3日（土）
大会長：山田 聡
場 所：宮城県（仙台国際センター） ※現地開催終了後、オンデマンド方式で開催
3. 日本歯周病学会学会誌（抄録）について
学会誌（オンライン）年4回、抄録（冊子体）年2回の発刊
4. 委員会活動
研究委員会、ペリオドンタルメディシン委員会、医療委員会、医療安全委員会、認定医委員会、専門医委員会、口腔インプラント委員会、歯科衛生士関連委員会、教育委員会、編集委員会、用語委員会、広報委員会、臨床研修委員会、学会あり方委員会、健康サポート委員会、国際交流委員会、倫理委員会、利益相反委員会、会則委員会、臨床データベース委員会、選挙管理委員会
5. 各種表彰事業
（学会賞、学術賞、奨励賞、会誌賞、教育賞、優秀臨床ポスター賞、ベストハイジニスト賞、功労賞、Young Investigator Award、トラベルアワード、地域活動賞）
6. 認定制度事業（認定医、専門医、認定歯科衛生士申請受付、試験、認定、更新、教育講演活動）
7. 新専門医制度への対応（共通研修の実施ほか、ペーパー試験の実施検討）
8. 臨床研修会事業（歯科医師に対する歯周治療のさらなる啓発）
9. 市民公開講座事業（春季・秋季学術大会時ほか）
10. 倫理研修会事業（春季・秋季学術大会時）
11. 広報活動事業
学会誌のオンライン化に伴うニューズレターの発行（年2回発行、抄録と同封）
学会ホームページの更新、国民向けホームページの立ち上げ・運用
12. 国際交流事業（KAP、CSP、APSP、AAP、EFP 等）、JSPiaの運用
13. 研究助成事業
1）「若手研究者の集い（春）」「若手合宿研修（秋）」助成
2）公募による助成（シーズ育成若手奨励研究、企画調査研究助成 等）
3）若手研究者に対する奨学金助成
14. 歯周病新分類における対応
15. 歯周炎患者データベース化事業（侵襲性歯周炎／慢性歯周炎）
16. 会員カード発行
17. 出版物製作事業
診療ガイドライン「糖尿病患者に対する歯周治療ガイドライン 改訂第2版」、「歯周治療の指針 2015」、「歯周病患者における再生治療のガイドライン」の改訂、各種ガイドライン英文化事業
18. 学会主導型研究の活性化
19. 国民への歯周病啓発活動（キャラクター、ビデオ作製等）
20. その他
令和4（2022）年度末までに下記を行う。
「インプラント周囲炎の予防と治療法についての歯周病学会の見解」の明示（口腔インプラント委員会担当）、「高齢者に対する歯周治療の指針」の作成（編集委員会担当）

収 支 予 算 書

（第21期）

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

特定非営利活動法人 日本歯周病学会
東京都豊島区駒込1丁目43番9号

収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人 日本歯周病学会

(単位:円)

	科 目	予算額	前年度予算額	増減	備考
I	事業活動収支の部				
1	事業活動収入				
2	会費収入	129,750,000	125,900,000	3,850,000	
3	会費収入	127,800,000	123,950,000	3,850,000	
4	法人会費収入	1,950,000	1,950,000	0	
5	事業収入	24,254,000	26,409,000	△ 2,155,000	
6	論文掲載料収入	500,000	500,000	0	
7	著作権使用料収入	500,000	400,000	100,000	
8	専門医認定事業収入	7,436,000	7,865,000	△ 429,000	
9	認定医認定事業収入	9,988,000	11,583,000	△ 1,595,000	
10	認定歯科衛生士事業収入	5,830,000	6,061,000	△ 231,000	
11	補助金等収入	2,664,000	2,376,000	288,000	
12	日本歯科医学会助成金	2,574,000	2,376,000	198,000	
13	研究助成協賛金	90,000	0	90,000	
14	寄付金収入	1,950,000	1,950,000	0	
15	学会費寄付金収入	1,950,000	1,950,000	0	
16	雑収入	76,500	32,500	44,000	
17	雑収入	76,500	32,500	44,000	
18	事業活動収入計	158,694,500	156,667,500	2,027,000	
19	事業活動支出				
20	事業費支出	113,200,000	94,170,000	19,030,000	
21	学術大会事業費支出(春・秋)	20,700,000	20,700,000	0	
22	臨床研修会支出	3,000,000	3,000,000	0	
23	市民公開講座事業費支出	500,000	500,000	0	
24	倫理・医療安全研修会事業費支出	800,000	300,000	500,000	
25	機関紙刊行事業費支出	23,070,000	22,670,000	400,000	
26	学会表彰事業費支出	2,780,000	2,780,000	0	
27	広報活動事業費支出	7,360,000	3,900,000	3,460,000	
28	関係団体との協力運営事業費支出	1,300,000	1,300,000	0	
29	専門医認定事業費支出	8,440,000	8,970,000	△ 530,000	
30	認定医認定事業費支出	5,000,000	4,810,000	190,000	
31	認定歯科衛生士事業費支出	5,160,000	4,270,000	890,000	
32	AAP-JSP大会事業費支出	2,200,000	1,000,000	1,200,000	
33	国際交流事業費支出	2,370,000	2,370,000	0	
34	研究助成事業費支出	12,420,000	4,500,000	7,920,000	
35	出版事業費支出	14,100,000	11,100,000	3,000,000	
36	大会関係事業費支出	4,000,000	2,000,000	2,000,000	
37	管理費支出	54,531,000	54,857,000	△ 326,000	
38	会議費支出	21,640,000	23,640,000	△ 2,000,000	
39	送料・通信費支出	2,100,000	2,100,000	0	
40	事務用品・印刷費支出	4,160,000	4,160,000	0	
41	事務委託費支出	20,318,000	19,294,000	1,024,000	
42	日本歯科医学会分担金支出	4,110,000	3,660,000	450,000	
43	手数料支出	220,000	220,000	0	
44	慶弔費支出	200,000	200,000	0	
45	租税公課支出	1,000,000	500,000	500,000	
46	雑費支出	783,000	1,083,000	△ 300,000	
47	事業活動支出計	167,731,000	149,027,000	18,704,000	
48	事業活動収支差額	△ 9,036,500	7,640,500	△ 16,677,000	
49	投資活動収支の部				
50	投資活動収入				
51	積立金取崩収入	9,000,000	15,000,000	△ 6,000,000	
52	AAP-JSP大会積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
53	国際交流積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
54	研究助成積立金取崩収入	3,000,000	3,000,000	0	
55	出版事業積立金取崩収入	3,000,000	9,000,000	△ 6,000,000	
56	大会関係事業積立金取崩収入	1,000,000	1,000,000	0	
57	投資活動収入計	9,000,000	15,000,000	△ 6,000,000	
58	投資活動支出				
59	積立金繰入支出	9,000,000	15,000,000	△ 6,000,000	
60	AAP-JSP大会積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
61	国際交流積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
62	研究助成積立金繰入支出	3,000,000	3,000,000	0	
63	出版事業積立金繰入支出	3,000,000	9,000,000	△ 6,000,000	
64	大会関係事業積立金繰入支出	1,000,000	1,000,000	0	
65	投資活動支出計	9,000,000	15,000,000	△ 6,000,000	
66	投資活動収支差額	0	0	0	
67	予備費支出	1,912,000	1,912,000	0	
68	当期収支差額	△ 10,948,500	5,728,500	△ 16,677,000	
69	前期繰越収支差額	318,749,068	273,212,099	45,536,969	
70	次期繰越収支差額	307,800,568	278,940,599	28,859,969	
71					

(4) 名誉会員の推薦（小方理事長）

名誉会員推薦

令和 3 年 12 月 21 日

特定非営利活動法人
日本歯周病学会
理事長 小方 頼昌 殿

推 薦 書

三辺 正人 氏を

特定非営利活動法人 日本歯周病学会 定款細則第 4 章 第 25 条①②③ 4)
に基づき、名誉会員に推薦します。

（所 属）日本大学松戸歯学部

推薦理事 小方 頼昌 (印)

(5) 新理事の推薦 (小方理事長)

同意書 (様式 1)

令和 3 年 11 月 10 日

特定非営利活動法人
日本歯周病学会
理事長 小方 頼昌 殿

同 意 書

私 小牧 基浩 は
特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則第 7 条 1 項
【① 2)、3)、4)、5)】理事候補者となることに同意いたします。

(所属)
神奈川歯科大学歯学部
臨床科学系歯科保存学講座
歯周病学分野

氏名 小牧 基浩



推薦書 (様式 2)

令和 3 年 11 月 10 日

特定非営利活動法人
日本歯周病学会
理事長 小方 頼昌 殿

推 薦 書

小牧 基浩 氏を
特定非営利活動法人日本歯周病学会定款細則第 7 条 1 項
【① 2)、3)、4)、5)】理事に推薦いたします。

(所属) 日本大学松戸歯学部歯周治療学

推薦理事

小方 頼昌



(6) 次期(第26期)理事長・理事について(八重柏理事)

A. 次期理事長

6月2日に次期理事長選挙を執行した。

B. 次期理事

選挙の結果、下記候補者が選出された。

1項理事候補者 (都道府県順)

	大学	氏名
1	北海道大学	菅谷 勉
2	北海道医療大学	古市保志
3	岩手医科大学	八重柏 隆
4	東北大学	山田 聡
5	奥羽大学	高橋慶壮
6	明海大学	申 基喆
7	日本大学松戸歯学部	小方頼昌
8	東京医科歯科大学	岩田隆紀
9	東京歯科大学	齋藤 淳
10	日本歯科大学	沼部幸博
11	日本大学	佐藤秀一
12	昭和大学	山本松男
13	神奈川歯科大学	小牧基浩★
14	鶴見大学	五味一博
15	新潟大学	多部田康一
16	日本歯科大学 新潟生命歯学部	佐藤 聡
17	松本歯科大学	吉成伸夫
18	朝日大学	辰巳順一
19	愛知学院大学	三谷章雄
20	大阪歯科大学	梅田 誠
21	大阪大学	村上伸也
22	岡山大学	高柴正悟
23	広島大学	水野智仁
24	徳島大学	湯本浩通
25	九州歯科大学	中島啓介
26	九州大学	西村英紀
27	福岡歯科大学	坂上竜資
28	長崎大学	吉村篤利
29	鹿児島大学	野口和行

2項理事候補者 (50音順)

1	荒川真一
2	荒木久生
3	石原和幸
4	稲垣幸司
5	宇田川信之
6	葛城啓彰
7	金子高士
8	河口浩之
9	木下淳博
10	児玉利朗
11	杉戸博記
12	中川種昭
13	長澤敏行
14	仲谷 寛

3項理事候補者 (50音順)

1	石原裕一
2	内田剛也
3	大野友三
4	金子 至
5	木村英隆
6	中島貴子
7	東 克章
8	藤田 剛
9	水上哲也
10	若林健史

4項理事候補者 (50音順)

1	野村正子
---	------

5項理事候補者 (50音順)

1	日本歯科衛生士会より推薦
2	日本臨床歯周病学会より推薦

★6月2日開催の
春季総会にて、
承認されること
を条件とする